大正九年十二月十四日第三種郵便物認可

新京日日新聞
夕刊
四月二十日

本紙定價　一部五錢　一ヶ月一圓
廣告料　普通一行一圓三十錢　特別同二圓五十錢

發行所　新京吉野町四ノ一　新京日日新聞社　電話三二五・三三〇〇
發行人　十河榮忠
編輯人　松本勇
印刷人　水越內之介

第四回外務參與會議
產業日本の進出協議
谷參事官よりは滿洲の近況報告
十九日外務大臣官邸で

【東京國通】第四回外務參與會議は十九日午後外務大臣官邸に開催、廣田外相、重光次官以下外務首腦部、滯京中の長岡前駐佛、永井前駐獨、出淵前駐米、吉田元駐伊林前駐白、松島前駐伊各大使出席、目下歸朝中の谷駐滿大使館參事官より滿洲國の最近の狀況に關する詳細なる報告あり

一、日滿ソ三國國境紛爭調停委員會に對する滿洲國側の意向

一、治外法權撤廢に對する滿洲國側の準備狀態

その他に關し谷參事官を中心に各參與の質疑應答ありたる後、第二面外務巡閲使松島大使を中心に刻下の我經濟の重要問題たる印度、近東南洋方面に於ける日本市場の維持、進展に就き重要協議を爲し會議は前後四時間に亘つた

廣田、ユ兩氏會見
日、滿、ソ親善懇談

【東京國通】駐日ソ聯大使ユレニエフ氏は十九日午後外務省に廣田外相を訪問し北滿鐵道代價の物資購入調査の爲館員數名と共に約一週間の豫定で近く關西地方に出立すべき旨を述べ、大阪、神戸、名古屋に於ける調査要項に就き種々外相と懇談を交したる後、ソ聯より觀た最近の歐洲一般情勢、就中問題の佛ソ協定の內容に就ても詳細なる說明を爲した、外相は此機會に目下モスクワに於て行はれてゐる日ソ漁業協定改訂交涉に對する帝國政府の意向を說明し日滿ソ三國々交親善の一大轉換に就き重要懇談を爲した

ウエーク島飛行場新設と
外務當局の意向

【東京國通】汎米航空會社が太平洋橫斷米支航空連絡を企圖し既にその第一着手たるサンフランシスコ、ハワイ間連絡飛行に

成功 したことは米國極東航空方針に一大礎石を確定したものとして各方面より注目されて居るが十七日米國クリスチャンサイエンスモニター紙は今回の太平洋航空路新設に就て汎米航空會社が日本側と何等豫め諒解を遂げなかつた事は遺憾であると論じ、ハワイ、ミッドウエーウエーク、ガム、マニラを繋ぐ一連の航空路が一路廣東に連絡を急ぐ一方日本の南海を橫に見ながら日本と何等の關連を意圖しない事實に關し鋭い批評を加へて居るが、我が外務當局は本年二月米國海軍當局がウエーク島に汎米航空會社の申請による着陸場建設をも公式に許容した當時より左の如き見解を懷き汎米航空會社の太平洋橫斷米支航空連絡に對し

嚴正 なる注目を拂つて居る、即ちワシントン海軍條約に規定された防備制限區域に當るウエーク島に汎米航空會社の飛行場を新設する事はウエーク島が米國の領土であり且つ右飛行場が民間會社のものであり何等軍事的意味無しと爲す米國の意見に從へば日本側より批判を挿む要はないが米支聯絡を計劃する汎米航空會社がそれより近き日米飛行聯絡に就て一言の觸れるところもなく現在に至つた事實は日米交通の現狀に鑑み寧ろ衷心より意外とするところである、サンフランシスコ、ハワイミドウエー、ウエーク、ガム、マニラと一連の航空路が日本の南海近く併も日本の南洋委任統治領を橫斷して建設されながら日本と何等の接觸を希望せぬと言ふ事實は極めて不可解の點であり太平洋交通を

中心 として見たる日米關係に即しても遺憾の意を表せざるを得ない

ソ聯極東郵便航路開始
我當局重大視

【東京國通】ソヴエート交通人民委員部ではモスクワからハバロフスク、ニコライエフスクを經てアヤンギジカ、アナドイリーを通過して北氷洋に面したシユミツト岬に至る極東航空郵便航路を開始した旨ハバロフスク島總領事より外務省を通じて遞信省航空局に最近通知があつた、同航路は昨春北氷洋探險船チエリユースキン號が遭難の當時乘組員の助救のため飛行した經路によつてソヴエート政府が自信を得て開始したものである尤も詳報がないため定期航路か否か不明であるが遞信省ではソヴイエート政府が極東沿海に航空路を創始した事は我國防上の見地から相當重大視してゐる、尚又同航路のアナドリーからは北米アラスカに近接して居り、アラスカからニユーヨークへの航路もあるためニユーヨークへの連絡も考へられる

軍需インフレで
鐵鋼製品出超へ
昨年に比し千四百余萬圓出超

【東京國通】軍需インフレ景氣の出現に依り日本國鐵鋼關係方面は異常なる活況を呈してゐるが、之に伴ひ從來輸入品に仰いでゐたものが內地で充分供給出來ることになつた結果、長い間入超を續けてゐた鐵鋼製品の輸入關係は昨年に於て輸出高一億二千五百五十二萬三千圓に對し輸出高は一億一千八十九萬八千圓と遂に一千四百六十五萬六千圓の出超を示現するに至つた、之は廣汎なる意味に於ろ日本鐵鋼界の異常なる進出を如實に示すものである、將來の輸出發展は極めて好望視されてゐる

鄭國務總理
皇帝お迎えに
廿五日大連へ

鄭國務總理大臣は皇帝陛下御歸還奉迎のため來る二十五日アジアにて新京出發、大連星ケ浦ヤマトホテル投宿、二十六日は滯在、二十七日御召列車に搭乘歸京の豫定である

蔣遂に折れ
西南へ妥協案提出

【上海十九日發國通】蔣介石氏は貴州問題を處理し勢に乘じて半年後に迫つた五中全會議までには對西南との關係も解決せんとし、貴陽入りに先立ち西南經濟封鎖を斷行し江西軍の貴州入りを禁止する等高壓的手段を執りたるも一度川、貴問題に蹉跌するや全く狼狽し先づ西南との妥協によりこの窮地を逃れんとし、從來の關係及び支那人として最も拘泥する面子等一切を顧みずして西南に對し十六日左の如き條件を提出したと

一、中央が西南と確執を續くるは支那の最も不幸なる時なるが故に支那安定の爲貴州問題に關しては中央西南に讓步す

二、貴州省政府首席は西南の指定する人物を以て充當す

三、貴州省委員七名の任命は江西の指定する人物を以てす

四、江西軍の貴州駐屯部隊費として六十萬元を直ちに送附す

五、西南經濟封鎖となるが如き發令は之を解消す

之に對し西南側では依然態度冷靜なるも蔣介石氏が西南派の指定する吳忠信氏を貴州省首席兼省整理委員として任命し又廣東より約二個師の軍隊が貴州に向ひ移動せろ點より見て蔣介石氏對西南の妥協は成立せるものと觀察せらる

共產軍成都に迫る
外人富豪等避難

【漢口十九日發國通】蔣介石氏が貴陽にあつて朱毛共產軍の防備に全力を注ぐ間に四川北部の共產軍徐向前部隊は四川軍を席捲しつつ西進を續行し十三日には溶江を渡つて江油中埧彰明を占領し目下鹿頭山脈の麓に位する棉陽安縣に迫つてゐる、之に對して四川中央軍側は第一路軍鄧錫侯をして防禦に當らせてゐるが將士に戰意無く共產軍の鹿頭山脈占領は既に決定的のものであるとされて居り、且つ同地より成都に至る間は一眸の平野で防禦の據點無く、之が爲成都は非常な危險に曝される事となつた成都にある外人及び富豪等は早くも重慶に向け避難を開始し同地人心は非常に動搖してゐる、尚貴陽を包圍する共產軍は中央軍の懸命の防禦に依り前進を中止し、戰線膠着の狀態にある

ソ聯は北鐵退職金を
現地で支給濟み

最近某所に達した情報によればソ聯當局は北鐵從業員退職金第一回、第二回合計七十萬圓を現地で支給した模樣である

皇帝陛下蹴鞠御覽

御來訪後初めて淺茶色の御背廣服に中折帽子の御服裝に御寛ぎ遊ばされた皇帝陛下には十七日午前十時三十二分都ホテル御發京都御所御成り蹴鞠保存會員の奉仕する日本古風の蹴鞠を御覽遊ばされた

佛都奈良の皇帝陛下
大佛へお成り
午後は鹿寄せに興ぜらる

（奈良にて金久保特派員發）佛都奈良は盟邦滿洲國の若き元首をお迎へして空前の榮光に輝いてゐる、二十日午前十時御機嫌殊の外御麗はしく奈良ホテル御出門、前日御同樣の略式自動車鹵簿で東大寺大佛殿に向はせられ同四分大佛中門前に御着、

奉迎 の雲井住職、北河原執事長等に御會釋を賜はりつゝ雲井住職の御先導にて大佛本殿に入らせられ殿內須彌壇の正面に設けたる木階を御登り遊ばされ五丈三尺に餘る偉大なる盧舍那佛の像に先づ御驚きの御眼をみはらせ給ひつゝ靜かに御禮拜遊ばした後雲井住職の御說明を一々聽し召されて須彌壇上を御一巡の後一同奉送裡に十時三十分再び自動車で帝室博物館に成らせられ山口館長御先行移帝室博物館總長の御先導にて西側正面玄關より御入館、同總長、和田前館長大宮同館御用掛等の御說明、林出行走の御通譯にて我國彫刻術の搖籃期たる推古より空前絶後とも云ふべき發達を遂げた天平の爛熟に至るまでの代表的佛像たる法輪寺觀世音菩薩、藥師寺十一面觀音、東大寺阿修羅像等を順次御覽の後第二室貞觀時代の諸作、第三室鎌倉時代の雄渾無比の彫作を御觀賞遊ばされ、更に同館開館四十週年記念として

去る 十三日より特別展覽會の美術工藝品特別展覽場に臨ませられ東京帝室博物館委託の法隆寺獻納御物を中に繪畫、金工、陶器、漆器類を御覽遊ばされたが中にも觀龍山影瓦像として有名な鎌倉時代虛空藏菩薩像同初期の優土佐長隆筆の住吉初詣繪卷、墨繪の極致を現す松淡口、雪舟の破墨山水、盛唐藝術の粹たる法隆寺獻納の御物海磯鏡、仁濟作水指等には特に御眼を止めさせ給ひて古美術の國日本の偉大なる藝術的風格を御心ゆくばかり御鑑賞遊ばされて同十一時七分より諸員の奉送裡にホテルに御歸還遊ばされた

午後は春日神社で神鹿八百頭を寄せて皇帝陛下の御覽に供し御旅情を御慰め申上げることゝなつてゐる、この日皇帝陛下には奈良公園內の公會堂前に成らせられて古代的行事の「鹿寄せ」を興ぜられるが朗喨と響く神官の笛の音を慕つて走り寄る鹿群を御覽遊ばされる皇帝陛下にはさぞ御滿足の

御事 と拜察申上げる　早朝鹿苑を放たれる神鹿は晝は公園內に樂しく餌を求め夕に塒へ歸つてゆく、輕やかな姿態を跳らせて公園を驅ける鹿の群は佛都奈良の限りなき誇りである

人事往來

▲青柳貞三氏（王子製紙株式會社員）十九日午後來京國都ホテル投宿
▲兒島卯吉氏（大連製氷株式會社々長）同
▲藤田少將二十日午前吉林へ
▲青木中佐同
▲倉知鐵吉氏（貴族院議員）十九日午後大連から來京大和ホテル投宿
▲鹽原時三郎氏（國務院人事處長）同歸京
▲許汝氏（文教部次長）同歸京
▲羅振玉氏（監察院長）二十日午前旅順から歸京
▲板垣少將（參謀副長）同日午前十時發內地へ
▲柳田中佐（參謀）同
▲大東少將（海軍燃料省採炭部長）同午前九時二十分哈市へ
▲小川少佐同
▲濱田龜三郎氏（滿鐵社員）十九日午後來京名古屋ホテルへ
▲前園治八氏（同）同
▲吉田亮平氏（大阪西村商店店員）同
▲猪兒一到氏（滿鐵社員）同
▲高橋明榮氏（京城商人）同
▲石澤勇治郎氏（商人）同
▲下田少佐（十六旅團參謀）同

最後の切札八枚

（合作）若水絹子作

＝誤解された純情＝　若水絹子作

13　從妹　（四）

球惠たちは、プログラムの後半から前半へと見たので、その時計がすんで電燈が點くと、交際をして觀客席から出たのだつた。するとそこの廊下の青いきのこを逆さまにしたやうな格好の長椅子に、從妹の蘭子が、脚と脚とを組み合せて、ノルリとした眼をひらいて腰かけてゐた。球惠の姿を見ると、

「ねえ、わたしやつぱり一人で歸ることにしたわ」

と、立上つてきて、さう云つた。球惠よりは少し背は低いかもしれないが、女性として立派な體格だつた。

內心、球惠は救はれたやうに思ひながら、ついかう云つた。

「だつて、悪いでせう」

「まあ、なぜなの？」

「お邪魔になるといけないわ」

「あら、厭な方」

球惠は、むつとしたやうに云つた。

「おほゝゝ」

蘭子は、永見の方をちらつと見ると、美しい齒並みを見せながら、上半身を波うたせるやうにして笑つた。

「ぢや、一緒に歸つてもよくつて？」

「どうぞ、どうせ同じ道ですもの」

と、球惠は、腹立たしさを押へてゐるやうに云つた。

「ぢや。お孃さま。その方に御紹介してよ」

かう云つて蘭子は、永見の顔にぢつと黑い眼をすえてゐた。永見は、自分が見られてゐると知ると何となく、ある壓迫を感じて、ちよつと顔をそらすやうにした。

「永さん、この人あたしの從妹で蘭子さんですわ蘭子さん、總部の永見さんて仰有る方よ…」

かう云つて球惠は、二人を紹介したのだつた。

「僕、永見清一です」

と、永見も云つた。

「あたし、總部蘭子よ。どうぞよろしく……」

彼女は、ちよつと顎のあたりを曲げただけで、男のやうな挨拶のしかたをした。

間もなく三人は一緒に、新宿の明るい通りへ出てゐた。まだ八時をすこし過ぎたばかりで、新宿の町は出盛つてゐる時刻だつた。

「タクシで歸りませうか」

と、永見はちよつと立止まるやうにして云つた。

「さうですわネー」

球惠は、自分の心の計畫をすつかりくづされてしまつたのでかうして、蘭子と三人連れで歩くよりも、早くタクシで歸りたい氣持になつてゐた。

「ぢや、タクシで歸りませう」

と、球惠の躊躇してゐる顔を見ると、永見はさう云つた。

「さう、タクシで歸るの？、おやあたしにつかまへさせてよ。あたし一番いゝ車を呼んで見せるわ、待つてゝネ」

さう云つて蘭子は、一步車道へ出ると、次ぎ〳〵に走つてくる車を物色してゐた。

「このスターは古いわネ、シボレーの新型なんか厭だわ。まだ古いフォードが走つてゐる……あゝ、あれがいゝ、ストップ！」

三三年型の一寸した自動車を呼び止めると、蘭子は、[illegible]より先にひらり飛乘つて、

「さあ、お乘りなさいよ、永見さん……お孃さんも早くよう」

球場にグラウンドに あすスポーツ展開
女子庭球のコート開きに ラグビー硬式野球等

シーズンに入つて若人をひきつけるスポーツ、明日の日曜日は西公園球場、同庭球コート、中銀グラウンド等で女子庭球コート開き、日滿聯合紅白硬式野球大會、電業對滿洲國政府のラグビー戰が花々しく展開される

女子庭球 コート開き

先づ午前十時から開始される女子庭球戰は新京体育聯盟庭球部主催の最初の催しであるため非常な人氣を呼んでゐる出場組は現在までの申込みは十組である、この内には全滿庭球大會に出場した選手又は内地各都市女子庭球大會に出場したものもあるので好試合を見せるであらう

硬式野球 本年劈頭戰

同午後三時からは西公園球場で日滿聯合紅白で本年劈頭の硬式野球が花々しく開始される兩軍メンバーは左の如くである

白 井家瀨部藤 原谷田 藤福深長佐 水布岡 田木川木松幡 藥留田 永二源佐赤小安正池 投捕一二三遊左中右

紅 橋賀海木山田下河本 高古鈴片山山大橋 橋田藤田田瀬輪香村 高竹近川平岩三淺木

ラグビー 中銀グランド

同日午後二時から中銀グランドで電業公司對滿洲國政府のラグビー戰が開始される、電業軍はさきに財政部の對戰に際し奮戰し財政部をなやましたが兩軍奮闘し遂に無得點のまゝ終了してゐるので明日はより以上の技倆を發揮し政府軍に肉迫するであらう兩軍のメンバーは左の如くである

FW 田永濱藤田野 高久島近牟濱 島中森原野田山 八田高關 HB 淺 TB 油柴川 FB 有

六大學リーグ 愈よ今日より開始

【東京國通】春の六大學野球リーグ戰はシーズンに先立つて二期制復活で先づ揉みに揉んだが、すべてが圓滿に解決して絶好の野球日和に惠まれた二十日いよいよ法帝、慶明戰から開幕した、これに先立ち午前十一時から六大學選手の入場式、松田文相の始球式が華かに擧行されたが、今春は世界選手權大會への參加と言ふ景物があり、而も劈頭が大物の慶明の顔合せとて早くも人氣旺盛である

6A－1 法政大勝 帝大敗る

六大學リーグ戰の劈頭を飾る帝大對法政の第一回戰は、本日午後零時廿九分から明治神宮球場に於て開催、球審伊丹壘審横澤、齋藤、宮武の四審判の下に帝大側の先攻で開始されたが、法政鵜澤の好投に牛耳られて六A對一を以て帝大敗戰した

	得點
帝	000000100 1
法	20002002A 6

本社主催 新京硬式野球 二十五日から 近く具体的ルール決定

本社主催、日滿體育聯盟、西山運動具店後援の新京硬式野球大會の幹事會は十九日正午から地方事務所會議室で新京側源川、伊藤、野村、藤戸高橋滿洲國側沼田、水原、高橋、酒井、主催者側德永、後援者西山運動具店主出席し協議の結果大會開催は四月二十五、六、九、三十日、五月一二、三日と決定した、出場チームは鐵道、滿鐵、地方部、商業學校、電業公司、新廳舍（交通主体）舊廳舍（總務廳主体）OBの八チームで二十二日午後四時から主將會議を地方事務所會議室で開催組合せその他大會ルールを主催者から發表することゝなつた

米鑑チーム 十九日桑港發

【サンフランシスコ十八日發國通】報知新聞社招聘の米國鑑球選拔軍オールスターチームは十八日午後五時郵船大洋丸でサンペトロからシスコに入港した、一行は十九日正午サンフランシスコ出帆横濱へ向ふ筈である

2－0 支那勝つ 對京城蹴球

【京城國通】全京城學生對支那チーム蹴球戰は十九日午後四時四十五分開始、技量伯仲接戰を戰じ前半支那チーム風上を利用して二點獲得、これに反し京城は無得點、後半双方得點無く二對零で支那チーム先づ一勝

自動車ギャング 手懸り更になし 捜査網を延ばす

自動車ギャングの犯人逮捕に躍氣となつてゐる新京署は十九日午後に至り有力なる二、三の聞込みに勇躍、午後七時より全署員を召集廣石署長陣頭に立つて午前二時頃まで市内外の捜査に當つたが遂に手懸りの片鱗だに掴むことが出來なかつたので二十日は午前七時より各主任を集め鳩首協議更に或る方針の下に陣容をたて直し一大捜査網をめぐらすことゝなつた倘深町醫院に入院してゐる被害者榊原新一氏は經過頗る良好室内の歩行も自由になつたので兩三日中に退院する見込である

邦人の縊死

十九日午後九時より同十時三十分までの間に南嶺街道六角道東北約二丁目地點順昌公司バラス置場事務所裏口の錠を破つて中に自巳の腹卷を用ひて縊死してゐる一内地人あるを滿人が發見屆出により係員出張取調べると推定年齢三十七八歳位丈五尺三寸痩型頭髮角刈一見職人風で茶色オーヴアーに地下足袋を穿ち茶色の卷ゲートル

新京武道界の 中堅の人々を語る（九） 日本武士道論

民政部經理科勤務 佐野大二郎氏

君は佐賀縣の産幼少より武を好み郷土の小島先生の門に入り柔道の猛練習を爲した、京都武德殿の大會に得意の大内刈にて一級七名を投倒し初段に翌年の大會に六名の有段者を拔き拔群組にて二段となり卄一年の春三段試驗に合格其後職務の關係上審査は受けざるも實力五段未だ廿四の若年目下民政部經理科に勤務中國都新京市民共用の大武道場なきを遺憾と自ら愛國運動武道獎勵者として常に武道論をとき警察道場や中央銀行道場等で稽古してゐる　渡滿來滿洲し今や滿洲帝國進展の途上にあると雖も日本武士道を吹込武德會本部創立の議に對し第一線に立ちて各縣縣に拔捗通路上に金の草鞋で西奔東走中である

◇

君は若しと雖も其熱と力こそさながら明治維新の元勳の如まねば王道精神本源が徹底せぬとは常に君がとく所、君は有名な文學の天才であり又和歌に通ず御參考に其の作の一二を左に記してみる

一、九州佐賀の男の葉隱れば義をみて死する大和魂

二、日の本の男の墓は葉隱れに櫻の花の咲く時ぞする

三、進まずば歸らぬ思ひ葉隱れず、今日の覺悟の男なりけり

君は此句にも偲ばせらる熱血兒意氣と力のある天地神明に誓ふ愛國武道獎勵者の一人である事を憂國諸賢へ紹介する

洋服屋の店員 嚥む 遂に絶命

山形縣西村山郡廣岩町字廣岩一一四生れ市内東三條通り三十六番地シベリヤ洋服店々員浦山吉三郎（二五）は十九日午後十一時頃新京城内東三馬路料理店初音に登樓同店抱酌婦王奴こと五月玉枝（二十一）をあげて六圓五十錢の遊興をなし二十日午前五時半頃浦山が玉枝の部屋で苦悶し始めたので家人は吃驚其の旨新京領事館北門派出所に屆け出で浦山を朝日通り深町醫院に擔ぎ込み手當を加へたが九時五十分頃絶命した原因は不身持のため首が廻らなくなり劇藥を嚥下死を圖つたものらしい

を冠き鳥打帽子をかぶつてゐた、懐中には大型黑皮製の蟇口を所持してゐたが一物も這入つてゐなかつた屍体は取敢へず民會に引渡した

街の日記

地事幹部と 記者團懇親

新京地方事務所幹部と出入記者團との懇親會は軟式野球試合終了後、十九日午後六時から賓宴樓で開催されたが主客合せて三十余名、武田所長の挨拶に對し記者團代表の謝辭あり宴酣なるころまづ野村社會主事の皮切りで各自隱し藝百出大いにメートルをあげ和氣藹々たる裡に八時すぎ散會した

西本願寺講話

二十一日の日曜、祝町西本願寺では午前十時より日曜學校の集りの他、午後一時半より日曜講話を開講する

大無量壽經　光岡　主任

法悦　田中布教師

日本基督新京教會集會

復活祭

一、日曜學校　午前九時

二、朝拜　午前十時十分

「救極の實證としての復活」　武藤富男氏

三、夕四拜午後七時

「身の光は目なり」　津村竹一郎氏

御來聽歡迎

日の出を拜する つどひ

廿一日（日曜日）朝四時四十分より西公園誠忠碑前にて（新京日出時刻四時四十八分）市民早起會午前六時

けふの銀相場

國幣對金票	一一〇圓〇〇錢
鈔票對金票	一三五圓〇〇錢
國幣對鈔票	〔一一六〇〕
現大洋對鈔票	一一六〇〇錢

春に浮かれてか 男女家出人頻々 捜査願出に新京署呆れる

暖になつて家出人が多くなり新京署保安係には内地方面からの捜査願が毎日數件舞ひ込み係員は呆れてゐる、廿日廣島市の達川イマといふ六十五歳のおばあさんから一人娘の本籍愛媛縣今治市室町四丁目達川ヨシエ（三十二）が無斷家出し新京で仲居奉公をしてゐるといふ噂を聞いたので捜してくれと願ひ出て來てヨシエは首筋に米粒位の黑子あり兩手の手首にお灸のあとがあるのが特徴

×

本籍埼玉縣川口市本町三丁目二、一八〇番地鑄物業田島伊三郎（三六）は同市公會内芳造長女渡邊みつ（十七）をつれて一千三百圓をもつて家出し新京方面に向つたらしいから取押へて貰ひたいと主人安藤一郎氏から屆け出た

×

本籍富山縣富山市稻荷町四丁目五十一番地生れ小竹ヨシ（一七）は延吉縣局子街春海カフエーに女給として働くことになり百五十圓を前借したまゝ逃走新京方面に向つたから取押へて貰ひたいと春海カフエー經營者アツより新京署へ願ひ出た

端午の節句を中心に 兒童愛護週間 赤ちやんの審査やその他 各種行事を盛大に

來る五月五日を中心に全滿各地一齊に兒童愛護週間として大々的に行事が催される、新京では地方事務所が主催となつて滿鐵病院内で乳幼兒審査をはじめ兒童達のための寶探し、旗行列などを行ひ、また母の會なども催して二日から八日までの一週間を幼兒愛護のために全力を盡さうといふので、地方事務所社會係で目下起案中である、なほ本年審査を受ける乳幼兒は去年二月一日から本年一月三十一日までの間に生れた赤ちやんで本年から一般申込者を受付けることになつてゐるが、いづれ起案が決定次第各方面の賛助を得て本年は一層盛大に試みるはずである

家庭園藝の獎勵に 肥料も斡旋 申込みは社會係へ

家庭園藝の獎勵に當つてゐる新京地方事務所社會係では花卉やトマト茄子類の苗木斡旋のみでは徹底を期し得ないと今度肥料の斡旋もすることになつた、なほ肥料は硫酸アムモニア一、〇、過燐酸石灰〇、五、米糠二、〇、腐熟鷄糞一、〇、油粕五、〇を配合した完全なもので一袋四百匁入二十錢、現品は見本が既に到着したので此際すぐ申込まれゝば當日から配布を開始するが、多量の申込は數日間おくれるかも知れないと

故北里博士の偉業記念 醫學圖書館建設

【東京國通】日本に初めての醫學圖書館が出來る、之は我醫界の偉人で血淸療法の發見等幾多の輝かしい業績を殘した故北里柴三郎博士の偉績を永く記念するため北里博士記念醫學圖書館を建設しやうと云ふのであるが、昨年秋既に實行委員が擧げられ我醫學界關係の人にも利用させやうと云ふのである、同圖書館は募集金豫定額卅萬圓でその中廿萬圓を建築及び附屬設備費に當て十萬圓を書籍費として居るが昭和十二年秋頃には完成の豫定である。圖書館は醫學に關する凡有る書籍を蒐集するは勿論散逸の憂ある和漢の醫書も集め、又廣く門戸を開放して一般醫學を進めつゝあり、此意義ある企ては早くも世界的反響を呼んで居る

本社學藝部の ラヂオドラマ 研究會生る 第一回放送の練習開始

かねて本社では、新京市民の高級な娯樂機關として學藝欄の擴張を計畫し、滿洲文學運動に一臂の力を即へようとの念願を持つてゐたが、今回まづ娯樂機關に惠まれない滿洲の愛讀者諸賢に愉しんで戴くため、學藝部主催の下に「ラヂオ、ドラマ研究會」を組織し、月一回位に定期放送をなす意氣込みで、先づ御覧の通り近東君の書下し『晩春臨夜曲』三景ーを以てデビユーすることになつた、出演者は目下各方面に亘つて交渉中であるが、目下大体決定したものは女主人公に、お馴染みのキヤビタルダンスホールのNO1千葉一子君、それに元、同じくキヤビタルで異彩を放つてゐた、現在曙町の酒場ナナの主人公ナナ子さん等が腕技を熟演することになり、放送指揮は學藝部の臙橋君、擬音効果山口君、音樂効果和波君等が受持つ事に決定、大連、奉天放送局のドラマ放送で活躍した大内隆雄、近東綺十郎君等が新京文化のため大いに貢獻せん事を意氣込んでゐる放送日時は近く放送局と折衝して決定する予定だが、會員一同既に熱烈な練習を開始し文藝愛好者の話題となつてゐる、放送日取、その他決定次第社告を以てお知らせする筈である

匪軍を撃退 日系城島中尉 重傷を負ふ

【營口國通】十六日混成第四旅司令部着電によれば豫て東邊道游源縣下に於て日滿軍を尻目にかけ荒し廻つて居た匪首滿天紅、老來好の合流匪が同縣弧子山附近に現はれたとの急報に接し第四旅所屬騎兵第七旅では連長隨觀濤及び日系軍官城島精一中尉（佐賀縣出身）の率ゐる六十名は直ちに駐屯地を出發討伐に向ひたる處匪軍は滿洲軍の寡兵を侮り一齊射擊を浴せたので直ちに之に應戰々鬪二時間の後漸く匪軍に大打擊を與へ東南方に四散せしめたるがこの戰鬪に於て日系軍官城島中尉は右大腿部に貫通銃創を負つた、敵の遺棄死体數十を算し鹵獲品多數を得た、尚城島中尉は奉天第二軍管中央陸軍訓練所第四期出身中の最初の負傷者である

通化バスの犠牲者 佐野氏の 遺骨還る

【營口國通】去る十一日匪賊の襲擊を受け安東省通化縣にて名譽の戰死を遂げた營口鹽務署緝私員佐野豐氏の遺骨は十八日午後二時十八分着列車にて歸還、直ちに鹽務署に安置された、葬儀は署葬として近日施行される筈である

横領店員逮捕

本籍朝鮮平北定州郡高安面鳳鳴洞生れ鮮于英（二三）は開原附屬地開原大街一九信興商會店員として雇はれ中集金六十圓を横領逃走新京に來り市内梅ヶ枝町三丁目二十六番地に潜伏中を十九日午後新京署金刑事が探知逮捕した

八日市機 ハルビン歸着

【ハルビン國通】滿洲國訪問中の井下大佐指揮八日市飛行五聯隊八八式偵察機九機は午後三時十分チチハルより無事ハルビンに到着した

仙人掌

ダイヤ街のイーさん、といつても長春時代から居住する人でないとハハアーと來ないが▲老來ます〳〵御旺ん、二號を自宅の裏にかくまひカフエー料亭となか〳〵の御發展▲それまではまだいゝが同じ町内のおでん屋〇〇に近ごろは日參、夜の十二時、一時ごろまでもへばりついて離れない▲『ホホー相當いけるんですネ』と杯を持つかつこうを示すと、これはしたり、このおでん屋の女將、まだ二十四五のスッキリとした京美人型の愛嬌のある女▲『イーさんよ御主人のあることは御存じの筈でせうが、あら厭じやないですか、妙な間違ひを起したりしては町内の恥ですぞ』と街からの注意そのまゝ

天氣と氣温

明日の天氣　西の風晴一時曇

日の出　午前四時四十六分

日の入　午後六時二十八分

月の出　午後九時二十九分

月の入　午前五時二十八分

けふの氣温　最高十五度八　最低二度一

新撰爆笑隊
(禁上映上演)
辰野九紫作　永田八浦關英太朗畫

現代篇

六三　い、空氣!?(四)

彼等主從が「愛して頂戴」の映畫に興じてゐると、

「お早う、遠藤さん。——お嬢さん、自家のは來てませんか。——綾ちやアん」斷髮夫人に置いてけ堀を喰らつて、起きぬけに些え據子で遠藤家の勝手口に入つて來た脇坂が、奇妙な男女合唱を不審に思ひながら、づか〳〵上り込んで茶の間へ來ると、意外に若返つたシーンが展開してゐるので二度吃驚——お轎女中はこそ〳〵と勝手元に引込んで終ひ、新聞を披げるので遠藤夫人はテレ隱しに、何とかいはざるを得ない。

「お早う御座い。——」

「ははは、君、時何だと思ふ、もうお晝だぜ。」

「まア、それよか、何如したんです——遠藤さんにも似合はないですね。」

「いや、えらい所を見付かつた君、食事ちや内緒に頼むよ。ははは。」

「ははは、愉快ですね——遠藤家にも春は來にけり——ですか」

「元談ぢやない。——證りに證つて、君に見付られたといふのが千一戰選の失敗だよ。」

「御挨ですなア……僕は賞められてるんでせうか。」

「何方でも貴君に任せる。——時に君、昼り物だけど味噌汁ならあるぜ。朝飯をやつちや如何だい」

「えゝ、有難う。物價が下落した御時ですね。朝飯が口留料の代用とは……」

「ははは、そんな心算ぢやないさ。」

「そりやさうと、僕ン家の綾子は何處へ行つたか御存じありませんか。」

「あ、左傑々々、今の騒ぎで失念した。何でも今朝早くお出掛けだそうだぜ。」

「お出掛け?」

「うん、東京へ流行物研究だとか、輕やかに傳言してね。」

「ははア、また犬川か——」

「何だい、イヌカワ?」

「犬の川端歩き、百貨店のね」

「成程、流石は御亭主、心得たものだ。」

「三越と聞いたつてピクともしません。第一、行るべきところにあるものがないんですから衆が濟いんですよ。」

「いやに落着いてるね。」

「なアに、あれで匪監の心算なんでせう。」

「昨夜君は遲かつたさうだね」

「それですよ、乾度。」

「ははア、そんな關係か。」

「えゝ、實は三田の昭さんと久し振りで銀座廻りをやらかしちやつたんです。先生、仲々離さないのを、僕は斷然歸るッて頑張つて十時のに乗つたまでは感心して貰つてもいゝです。」

「ははア、浦和の驛前で、つゝかゝつたね。」

「左樣です。彼店へプレーン・ソーダ一杯飲む氣で入つたのが拙々です。」

「惡い仲々だね。」

「例の通り浦和高校の連中がストーブを圍んで、旺にビールを飲んでました。止せばいゝのに僕もいゝ加減入つてゐましたから——君等はビールとストライキと何方が好きだと揶揄つたものです。」

「相手が惡いよ。同校の生徒と來た日にや、右左の區別がつかないんだから困る。」

「へえ、矢張左傾分子がゐますか。」

「そんなんぢやない。——道路の左側を歩かなかつたのが原因で警察と衝突じたことがあるさうだ。」

「隨分下らないんですね。」

ラヂオ

廿一日(日曜)　新京

(午前の部)

六、〇〇　ラヂオ體操(滿語)
六、一五　ラヂオ體操(大連)
引續き　入港船の御知らせ(大連)
七、〇〇　ラヂオ體操(滿語)
七、一五　ラヂオ體操(大連)
七、三三　朝の音樂(大連)
八、三〇　子供の時間(大阪)
うたのおけいこ　武岡鶴代
一、僕の希望は音樂家　船越復二作詞　佐々木すぐる作曲
二、アンテなの露　鈴木昌子作詞　增澤健美作曲
九、四〇　講演(東京)　佛教寺院の使命　大谷尊由
一〇、一〇　子供の時間　滿語(天寧)
唱歌　奉天工學救濟院高一級女子
指揮及鋼琴　吳耀光
一、滿洲國國歌　陳秀雲
二、夕陽無限好　劉鳳陽
三、鶯燕讚春　魏俊英
四、蜂蝶嬉春　張玉關
五、桃李迎春　孫文秀
六、燕雙飛　項桂芝
七、姉弟遊春
八、日本國歌
一〇、四〇　演戲
一、捉放曹　老生　訪華
二、奇寃報　胡絃　張立明
三、一捧雪　月琴　錢寶樹
一〇、五九　時報(東京)
一一、二〇
一五、〇〇　野球試合實況
東京大學野球聯盟リーグ戰
——明治神宮外苑野球場より中繼——
●備考　一、講演及東京入經濟市況、ニュースの時刻には中斷す　二、雨天の場合は左を編入す
一一、五〇　講演(全日滿中繼)　滿洲の安寧　民政部總務司長　清水良策

(午後の部)

〇、二〇　獨唱と混聲合唱(大阪)
引續き　俚謠(大阪より)
一、〇〇　東本願寺落成慶讚法要實況
——東京築地東本願寺より中繼——
一、三〇　新人の午後(東京)
二、五〇　經濟市況(東京)
三、〇〇　ニュース(東京)
五、〇〇　子供の時間(東京)
管絃樂(解說付)　日本放送交響樂團
指揮　ニコライ、シフェルブラット
組曲「子供の領分」ドビユツシー作曲
一、グラドス、アド、パルナッスム先生
二、象の子守歌
三、お人形のセレナード
四、雪は踊つてゐる
五、小さい羊飼ひ
六、黒ん坊人形の踊り
五、二五　氣象通報、番組豫告
六、〇〇　ニュース(東京)
六、二〇　ニュース
六、三〇　講演　關於綫化運動　實業部大臣　張燕卿
七、〇〇　箏曲と胡弓獨奏(大阪)
一、箏曲　奉迎歌　文部省謹選　菊仲米秋謹曲
替手　菊仲米秋
本手　菊臘琴聲
同　南菊百合
二、胡弓獨奏　鶴の巣籠
胡弓　菊仲米秋
三絃伴奏　菊臘琴聲
七、二〇　滿洲國皇帝陛下奉迎歌(大阪)
(讀賣新聞社懸賞當選歌)
町田啓二作詞　石塚寛謹曲
寶塚少女歌劇雪組生徒
同　聲樂專科生徒
引續き　レヴユー、オペレツタ(大阪)
メルヘンランド　中西武夫作
山内匡二・岩河内正幸作曲
寶塚少女歌劇雪組生徒
同　聲樂專科生徒
トム　初音麗子
ジヨン　貫玉代
王子　阿古屋珠子
セントジヨン卿　室町良子
エリザベツト姫　草路潤子
ナン　藤花ひさみ
トムの母　梅香ふみ子
マイルス、ヘンドン　汐見洋子
ハムフレイ　夕張ゆき子
村の裁判官　千村克子
フール　篁八十子
王　秋月さえ子
唄　手橋黨
解說　翠松子
音樂　寶塚オーケストラ
指揮　山内匡二
演出　中西武夫
八、〇〇　連續ラヂオ小說(東京)
白旗姫物語(五)　村松梢風作
村田嘉久子　汐見洋　森英二郎
八、三〇　時報、ニュース(東京)
八、四五　ニュース、氣象通報(滿洲)
番組豫告(滿語)
九、〇〇　舊劇　烏盆計
新京鐵路局戲劇研究社票友
張波　吳連
外文武場面諸位
九、四〇　講演(鮮語)
治外法權撤廢と我等の覺悟
民政部社會科　李命勳
一〇、〇〇　北滿の時間(露語)(哈爾濱)
一、講演　監禁所の恐怖　タルイジン
二、ラヂオスケッチ　黒き幻　ペトリーナ作　男聲模寫コリナ演　ピアノ伴奏ミュルレル女史
三、ニュース

新進青年手合【其十五】

先番　高川格(二段)
瀬川良雄(二段)

(三)粘く

●□五五　ぬノ十五
○□五六　かノ五
●□五七　わノ五
○□五八　かノ四
●□五九　ぬノ十三
○□六十　つノ十
●□六一　そノ十一
○□六二　わノ一
●□六三　ぬノ一
○□六四　そノ十五
●□六五　ぬノ十九
○□六六　ちノ十八
●□六七　ちノ十一
○□六八　りノ十

六段　久保松勝喜代講評

黒百五五は味の好い處、此の手の前に白から(い)に投り(を)入れ、黒(ろ)と交換して置きたかつた。後に白(は)黒(に)白(ほ)黒(へ)白(と)の如き得が殘るのであつた白百五六を截らぬと今や黒百五八が大きい。

黒百五七は打得。是れも黒百五三の働きである。

白百五八と粘ぐ外はない。

黒百五九も大きい。

白百六十は三目程の得である。

黒百六一を(ち)に約へると、白百六一、黒(り)白(ぬ)で白の「花見劫」である。

白百六二は黒から此處に下られるのに比べ、先手三目の得。

黒百六三は止むを得ない。

白百六四の處を黒から出られ、白(る)となるに比し白三目の得。

黒百六五の斷ねも先手。

白百六六と堅く粘いだのは本手

黒百六七に對し、白(を)黒百六九、白百七十等と應ずると、後に黒(わ)の出が殘る。

故に白は百六八と覗いたのである。

居住消息

轉居

▲西野利雄氏(大分縣)公主嶺から花園町四丁目四號地六十二ノ二へ
▲田名部一氏(東京府)芙蓉町一丁目四號地陸軍官舍四十八號へ
▲佐藤繁雪氏(愛媛縣)四平街から住吉町二丁目六番地へ
▲川崎昇一氏(岡山縣)西三條通敷島寮八十一號室へ
▲矢崎末廣氏(香川縣)大連から曙町四丁目九番地へ
▲新田泰氏(東京府)公主嶺から入船町三丁目七番地新京タクシーへ
▲杉浦房造氏(愛知縣)同
▲本谷雄太郎氏(廣島縣)吉野町三丁目十二番地生善アパートへ
▲恒松太郎氏大和通りから入船町三丁目十一番地ノ二へ
▲早崎正道氏八島通りから中央通り二十四番地局構内官舍三十三號ノ四桐原方へ
▲柏木敬二郎氏中央通りから兵庫縣へ
▲畑尾憲和氏中央通りから入船町三丁目

出生

▲松村義人氏(老松町十番地)次女通子さん六日出生

死亡

▲過館チヨノさん(日本橋通り三十八番地)十八日午前六時三十分死亡

日曜　丁卯　先負　閉　昴宿
四月廿一日　舊三月十九日

●一白の人　刻々に勢ひ付きて來る日開店名弘め等良好　壬と癸と丑が吉
●二黒の人　功名榮達期して待つべし開店名弘就職皆吉　甲と乙と巽が吉
●三碧の人　暗がりに物を探るが如く思ふ樣にならぬ日　庚と癸と丑が吉
●四綠の人　我儘は動搖を生じ易し退き守るが安全なり　庚と癸丑が吉
●五黄の人　區々たる小節を捨て高處より大觀して進め　巽と丁と辛が吉
●六白の人　事は少々長引くと雖も願望は成就すべき日　甲と乙と丙が吉
●七赤の人　文書言語を愼み行ひを崩さぬ樣注意すべし　巽と丙と丁が吉
●八白の人　之れまで滞り居たる雜事も解け去るべき日　乙と丁と辛が吉
●九紫の人　焦り氣のみ長じて落付きを欠く注意すべし　丙と庚と癸が吉

國內郵政刷新に交通部全力を注ぐ

日系練達官吏を地方へ派遣

交通部郵政司では滿華通郵解決を始め萬國郵便聯盟より實質的承認を得、又近く日滿間の郵便條約も改訂の機運に到達したので今後は國內郵政の充實に向つて全力を注ぐ方針である、昨年來全國三百十二郵局の郵務事務改善に盡して來たが、目下のところ郵局練並に所謂郵務スピリットと當事者事務技術及び國体的訓も稱すべき精神的一貫した流れは極めて稀薄であるため、取敢えず元年度豫算で郵政管理局をして地方郵局員の事務講習並に通絡事務を講習せしめる一方日系の練達官吏を地方に派して改善に努め來つたが來年度よりは從業員の素質向上は素より郵局の營繕改善に力を注ぎ國政遂行上重大役割を爲す郵務の圓滑なる發達を期してゐる、即ちその具体的方策としては大体左の各項が擧げられる

一、全國郵務從業員の精神的統一を圖り、郵務スピリットを涵養する爲且つは郵務技術の向上を圖る爲學校を創設する

而して學校は單なる技術養成に止らず精神的訓練にも重點を置く

一、中央地方郵局の設備改善を圖り之が營繕費として相當莫大な豫算を編成

一、國民の郵便貯金に對する關心を啓發するその手段としては郵局の宣傳勸誘は勿論文教部と連絡して學校より家庭へ關心の扶植に盡す

尙これと共に全國の郵貯取扱局も漸次增加して國民の利便に資する

六十年來の大旱魃で支那農村に暴動

災害十七省に及ぶ

【上海發國通郵信】昨年民國廿三年(一九三四年)の支那各地の旱魃は六十年來のものと稱せられ、その災害區域は十七省に及び農民の窮乏は其極に達し流轉者路に溢れ、各都市は入口に關所を設け、流民の侵入を防止したが各農村では窮狀を訴へて各種の暴動を起し全くの生地獄を現出した、南京政府では民心の動搖を鎭壓するため各新聞紙に對し暴動記事の揭載禁止を命じたが、最近其の一部を發表されたものゝみでも左の多數に上つてゐる

△四月二日江蘇省揚中縣三四五區の數千の農民は轉糧稅の輕減を要求して大暴動を起し各區區長黨部の各役人を毆打し各機關建物等を燒拂つて暴動のトップを切つた

△四月六日同南通縣五區項家橋の農民は田畝捐を徵收に來た保衞團員と衝突し血の雨を降らせ、男女數十名の死傷者を出した

△四月八日大足縣農民は田畝捐が高過ぎると言ひ請免會を組織し當局に向つて免稅を申込んだが聞かれず各所に衝突縣公署に拘禁された者多數に上つた

△四月廿九日浙江省蕭山、呂蜀、江等の鄕民四區の五百人は釀酒捐を納入する力なしゝ黨政機關に對し免稅を懇請した

△五月十一日河南省彰德二區に於て鄕民が服子會なるものを組織し一切の苛捐雜稅は之を納めざる事及貪官汚吏の打倒のスローガンを揭げて一揆を起し、農民も共鳴して參加する者多數、突然會長が逮捕拘禁さるゝに及び遂に統制取れず解散

△六月十一日江蘇省高郵縣四區居河鄕に於てその鄕長不正事件の非をならして全鄕民衆が縣當局にその檢擧方を請求

△六月廿一日同揚州に於て三府のため其代表者が檢擧され漸く鎭壓、一人は一年二ヶ月一人は六ヶ月の罰を受けた

△七月廿七日安徽省斗埠に於て稅務署長が船稅徵收の事にて民衆と衝突し遂に船舶業者のストライキとなり今に及ぶも未解決

△七月二十七日武康に於ても鄕長の苛斂誅求に反對し農民數百名の一揆が勃發した

△八月十八日德慶に於て數百名の民衆が稅務當局の山貨稅徵收に反對して暴動を起し遂に死者二人、三人の拘留者を出した

△八月二十五日廣東省中山縣八區小赤坎に於て稅務當局が沙稅を徵收せんとするに對して反對約五千七百人の民衆は暴動を起し稅務員並に警官に毆打され暴動中射殺されたものあり相當激烈な衝突を惹起したが遂に暴徒の負となつた

△九月四日鎭海三區海甸施山等の約二千人は旱害による農作物減收を理由として縣政府に對し稅租の免除を要求したが當局が滿足なる返答を與へざりしため容易に退去せず遂に要求は容れられず不成功に終つた

△九月八日瓊崖に於て數百人の農民が當局が新に土地を測量して租稅を增徵せんとすることに反對して起つたが殆ど全部拘留の浮目に遭つた

△十月廿二日蘇州に於て地主對小作人の紛糾惹起し小作人のリーダーが逮捕され意氣沮喪、遂に小作人側の敗北となつた

△十一月十一日常州二區に於て百餘人の農民が縣政府に對して租稅の減額附加稅全免を要求して立つたが縣政府のため其代表者が檢擧され漸く鎭壓、一人は一年二ヶ月一人は六ヶ月の罰を受けた

△十一月廿二日江蘇省常熟金涇鄕阮家灣に於ては農民が統租會及び武裝自衞團を組織して警察が地主のために農民を逮捕することの非を鳴らして起ち土豪劣紳及び高利貸の打倒を叫んで暴動を起した

△十一月二十五日廣東省番禺謝林召壁等十餘ヶ村の農民千餘人が租稅減額の請願團を組織して省政府に請願せんとしたるも途中當局のために阻止されその目的を達せず

△十二月五日揚州に於て再び數千人の農民が地租增徵に反對して暴動を起し縣黨部及び政府官吏の家を襲ひ之を破壞し又は放火したが暴動首領連拘禁無期一名七年及四年夫々三名の刑を受けた

△十二月十三日蘇州郭巷手山に於ては相次で農民が租稅免除を叫び暴動を起した

廣田外相主催のハルト長官招待宴

【東京國通】廣田外相主催のハルト蘭印經濟相歡迎午餐會は十九日午後零時半より三年町外相官邸で開催、ハルト博士夫妻を主賓に陪賓としてパブスト駐日オランダ公使、日本側より廣田外相、重光次官、大藏、遞信、商工各次官及び日蘭政府代表としてハルト代表との間に折衝に努めた帝國代表長岡春一博士、顧問木村鋭市氏、同じく三井スラバヤ支店長山中淸三郎の諸氏出席、日蘭交驩の午餐を共にしたが、更に午後一時より廣田外相はハルト經濟相との間に十八日の廣田、ハルト會談に引續き日蘭會商再開に對する基礎的打合せを進め再開に對する日蘭兩國政府の意向を突合せ日蘭兩國經濟關係に橫たはる一般的不安狀勢調整に關し懇談を遂げ、午後二時過ぎ散會した

京大線及關係地方經濟事情(二)

新京商工會議所書記 岩淵滿雄

第三項 貨物運賃及馬車運賃との比較

一、鐵道貨物運賃

イ、小口扱 一粁 一〇〇瓩 [illegible]

ロ、一車扱 一粁 一瓲 [illegible]

ハ、新京向特產物特定運賃 粁瓲當り [illegible]

二、馬車運賃との比較

京大線開通前に於ては沿線各縣の特產は農安及扶餘の兩地を中心として新京へ馬車輸送されたが今後は鐵道を利用するであらうが現在の鐵道及馬車運賃を比較すれば左の如くである。

イ、自農安驛至新京
鐵道運賃 一車扱 [illegible]
內譯 汽車運賃 [illegible]
貨棧より驛迄持込料 一〇、〇〇
積込手數料 六、[illegible]
於新京引取料 一〇、〇〇
馬車運賃(三〇瓲)一〇〇圓、〇〇錢
馬車は三頭曳一台約一、[illegible]瓲積にて五圓、即ち二〇台で三〇瓲此の運賃一〇〇圓となるが歸り荷が約定濟の場合は尙幾分安くなる。

ロ、自前郭旗至新京
鐵道運賃 一車扱(三〇瓲)[illegible]
內譯 汽車運賃 [illegible]
扶餘縣城より驛迄持込料 [illegible]
其他諸掛 [illegible]
馬車運賃(三〇瓲)[illegible]圓〇〇錢也
馬車は三頭曳一台[illegible]圓〇〇錢
(以下ロ參照)

即ち扶餘からの場合に於ては鐵道運賃が遙に低廉である

以上の如く鐵道と馬車の對抗地點は農安迄であり之れより以北に於てはトラックが競爭相手となる、然し之れとても歸り荷約定濟みの場合を除く外鐵道運賃並みでは道路惡と治安關係から採算見込みが建ちかねる現狀にある

第四項 農安及前郭旗驛勢

一、農安驛勢

京大線新京驛より六二四粁農安縣城の西方一五粁の地に在り昨年十二月一日の假營業開始以後に於ける乘降客及發著貨物數量は左の如くである

イ、乘客數(二月二十六日迄)八、五九九人
降客數(同)七、七九一人

ロ、發送貨物數量(二月末日迄)四三七車
到着貨物數量(二月廿日迄)二〇、四六五瓲

右發送貨物は大豆高粱及小豆其他の特產であり到着貨物の大部分は石炭及鐵道工事材料である

二、前郭旗驛勢

京大線新京より一五〇粁、扶餘縣城の東南六粁、第二松花江岸の平地に在り本年一月一日より二月中旬迄の乘降客及發著貨物數量は左の如くである

イ、乘客數 一、五二一人
降客數 一、六八八人

ロ、發送貨物數量(大豆、吉豆、包米が主)六、七八六瓲
到著貨物數量(石炭、石油、白米が主)三八九瓲

第二章 農安縣

第一節 農安縣勢一般

一、當縣一帶の地は曾て高句麗(今の朝鮮)に屬し唐時代は支那の勢力下に在り元朝以後は蒙古王領となり喜慶五年漢人に開放し淸の光緖十五年に置縣され現在は吉林省管轄下に在る

二、本縣は吉林省西南部に位し南界は長春縣、東南の長春、德惠兩縣境を伊通河が西北流し第二松花江は之れを各して東北及北の扶餘縣と郭爾羅斯前旗境を北流し西は長嶺縣に接し縣內西部に數個の湖沼があり概して波狀性丘陵に富み其の間一望千里の沃野が拓けてゐる

面積 [illegible]晌
人口 [illegible]人
(康德元年末日領警調査)
旣耕地 [illegible]晌
(大同二年度實業部調査)

三、農業及牧畜を主產業とし縣公署調査に依る康德元年度收穫豫想高は大豆[illegible]千石、高粱[illegible]千石、粟[illegible]千石其他合計約[illegible]石、其縣外移出可能量九七千石とされてゐる家畜類は馬騾、豚、牛等である

四、縣下の主要道路は縣城の大小七門から各方面に通じ其里程は左の如くである

自縣城至哈拉海城子
自縣城至伏龍泉
自縣城至扶餘
同 高家店
同 張家灣

尙伊通河が縣の東隅を、松花江が…るが水路としては別段利用されてゐない

商況欄(四月二十日前場)

海外經濟電報(四月二十日)

倫敦銀塊 イースターホリデー
同 遠限
紐育銀塊
孟買銀塊
スチール株
アナゴンダ
米英爲替 譯音基督復活祭休會
米日爲替 二八弗五六仙
米支爲替 三九弗七〇仙
英日爲替 休
英支爲替
英米爲替 四弗八五仙〇〇
印日爲替

▲米棉(現物、五月限、七月限、十月限、十二月限、一月限、三月限)
▲印棉
▲市俄古小麥(プローチ、オームラ、ベンゴール)
▲カルカッタ麻袋(五月限、七月限、九月限、害筋、鐵筋)

金銀市況

●上海市場休會 イースターホリデー
●譯音基督復活祭
●大連金鈔票
●大連鈔票銀大洋
●奉天國幣金票
●奉天國幣鈔票

爲替相場

▲上海爲替
▲紐育向
▲倫敦向

式株相場

▲阪神日米爲替
▲阪神日英爲替
▲大阪株式(短期)
▲大連株式(短期)
▲奉天株式(短期)

商品市況

▲大阪綿糸
▲大阪棉花
▲大阪人絹
▲神戶豆粕

特產市況

大連大豆、豆粕、豆油、高粱、小麥
哈爾濱大豆

新京取引所市況(四月二十日前場)

▲大豆 現物(一石値段)、期(混合百斤値段)
高粱
●國幣對鈔票
●鈔票對金票

(滿洲取引所仲買人 福奉公司 新京東二條通 電話六七八五番)

新京日日新聞
朝刊
夕朝刊共十二頁
發行所 新京日日新聞社

佛ソ相互援助條約案
佛の難色で流産
假調印の土壇場で打つ棄られたソ聯側

【パリ十九日發國通】佛ソ兩國間に於ける相互援助條約案は十九日フランス政府閣議の承認を經て十九日假調印を見るものと豫想されてゐたが最後の土壇場に至り相互援助條項に就き意見纏まらず假調印は遂に流産に歸した、假調印流産の事情はソ聯側代表が相互援助條項の自動發動を主張せるにフランス政府がストレーザ會議以後に於ける國際情勢の變化に徴し難色を示し出した結果と確聞する

積極的にその嚴重取締のため乘り出したものであり蘭印國內情勢を端的に物語るものとして注目される

俄かに信じ難い
英支二千萬磅借款
=我が外務當局の見解=

【東京國通】英支間に二千萬ポンドの私的借款成立したとの報に就て日本外務省では俄かに信用し難しとの態度を持してゐる即ち

我が方としては政治借款には反對する方針なるもその以外のものに就ては强ひて排撃しないが、對支借款問題に關し英政府は若しかゝる申出でが支那側よりあつた場合又兩者が談合する時には右內容並に經過を日本側に遲滯なく通達する旨我が方に申し來つてゐる點に鑑みてもかゝる借款を秘密裡に取結んだとは想像出來ないとなしてゐる

蘭印政廳の
不法通信取締

【東京國通】在バタビヤ越田總領事より二十日外務省着電によれば蘭印政廳は郵便、電信、電話、運送、檢閲取締令制定中であつたが、十九日に至り來る五月一日を期し右通信檢閲取締令を領內に實施すべき旨公表した、而して右檢閲取締令の目的とするところは全然對日關係等ではなく蘭印內に於ける最近の政治經濟社會上一般に不安な氣分に鑑み一部國內人士が外國人と連絡を取り國法を紊るが如き不法通信を行ふ事實あり政廳が

有吉公使上海發
歸朝の途に就く

【上海廿日發國通】有吉公使は今朝九時出帆の龍田丸で夫人同伴、有野書記官、横川書記生帶同歸朝の途に就いたが廿日頃齋京、廣田外相を訪れ支那各地における最近の排日取締り狀況、支那朝野の對日感情、借款問題關稅改訂問題等各種重要問題に就き詳細に報告を爲すと共に日本の對支外交の政策に關し重要献言を爲す豫定である

通商審議會總會
諮問議題注目さる

【東京國通】通商審議會は來る二十六日午後三時半より首相官邸で會長廣田外相以下各幹事委員出席の上第五回總會を開催外國に於ける日本品防遏に對する措置に關する件並に外務省通商局の機構改革に關する件の二件を附議協議することとなつたが諸問議題は時節柄極めて注目されてゐる

北鐵讓渡問題
一段落

【南京廿日發國通】支那政府は北鐵讓渡問題に就ては過般の對外聲明及び對ソ抗議を以て一段落を告げたるものと爲し近く歸任する駐支大使ボゴモロフ氏に對しても本問題に

輸出超過
鐵鋼製品仕向地

【東京國通】鐵鋼製品が既報の如く輸出超過を現出するに至つた事は異常な注目を拂はれてゐるが、その輸出方面は主として南洋、印度、滿洲國方面で主なる品目は自動車、同部分品及び附屬品（ゴムタイヤを除く）其他の車輛、同部分品及び附屬品、電機機械紡績、織布機、鐵道機械等である

支那鐵道視察團
滿鮮へ第一步

【南京二十日發國通】北寧鐵路局長殷同氏は十九日當地發北上したが同氏の引率する日本鐵道視察團一行は最初の汽船に依る渡日コースを變更し北支より滿洲に出で奉天安東朝鮮經由の陸路コースをとることに決定したと

就き交渉を提議せざる事に決定した

極東の戰備進捗
ソ聯の和戰兩面策
ラービン副司令日本を誣ふ

北鐵接收に續く日ソ、日滿ソ間の諸懸案として國境紛爭防止問題、國境確定問題、國境防禦撤廢問題、不可侵條約等諸問題が殘され三國間の空氣は緊張してゐるが最近に至り一部にソ聯は共産主義を放棄するのではないかとの說を抱くものもあるやうであるが軍當局ではソ聯は絕對に共産主義を棄てるものではないとみて居り、對日滿戰は出來るだけ去けんと極東軍本年度除隊兵の如きも全部本國に歸還させず着々進め、最近特別赤旗極東軍副司令ラービンは次の如き對日虛構宣傳をなしてゐる

資本主義國家の衝突は既に不可避的問題たることは明らかである然しわれ〳〵は如何なる危險と雖も臆することなく之に直面することが出來る、われ〳〵國民と軍隊は一心同体となつて如何なる敵にも恐れず、昨年日本に於ては九百回に亘る勞働者の同盟罷業あり、農村には四千回に亘る農民暴動あり市には武裝せるものもあつた、軍隊においても脫走者多く特に朝鮮軍の如きは搜査犬を使用して脫走兵の搜査に努めてゐる有樣である、然し我らはこれに甘んずることなく活動力を養成して戰に備へることが肝要である

在哈ソ領事館の
行動注目さる

北鐵接收後在哈ソ聯領事館では舊北鐵從業員中よりの轉任或は本國より補充して着々陣容を堅めてゐるが現在館員は百名以上に上り、新に諮問機關として特設局を設置する在哈領事館の行動は注視される

湯島聖堂 儒道大會
山東代表多數參列

【東京國通】去る四日盛大な落成式を擧げた湯島聖堂では廿八日儒道大會を、卅日には孔子祭典を聖堂で開催することとなり豫ねて日支文化親善の第一步として山東省曲阜にある孔子、孟子、顏の末裔並に支那各地の儒學者に對し儒道大會孔子祭典參列の招待狀を發した處、山東省政府當局も日支文化親善の盛儀に絕大の贊意を表し孔子の正系孔德成氏幼年のため孔子家代表として曲阜明德中學校長孔明潤氏顏家代表顏鈴鴻氏（顏家當主の叔父）及び儒者代表として山東政府代表參議趙新儒氏前山東省議會議員聶澄澤氏の一行を東京に派遣儒道大會孔子祭典に列席せしめ更に秘書處外事科主任王守德氏を通譯として隨行せしめることとなつたので、日本人側からも濟南東魯學校教授觀田氏を東導役として歸朝させることゝした、かくて儒道大會孔子祭典に參列の一行は支那一般國民の熱誠なる見送りの中に南京に於て國民政府に挨拶を交し廿三日上海發長崎丸で二十五日神戶着東上二十八日の儒道大會、三十日の孔子祭典に儒道發祥のおもかげを傳へて參列、日支文化親善の第一步を踏み出すことゝなつた

觀光會議の途次
殷同氏來奉

【奉天國通】北寧鐵路局長殷同氏は東京に於て開催される東洋觀光會議に列席の爲め二十七日午後四時二十分奉天着直通列車で來奉、鐵路局首腦部と會談の上同夜午後十一時發列車で安東經由東上の豫定である

關西御巡覽第七日目
歡迎の渦の中を
今日大阪御着

【大阪國通】大阪全市を滿洲色に明裝し三百萬市民が熱誠こめて待ち奉つた皇帝陛下には奈良市の御日程を終へさせられ愈々關西御巡覽第七日目の廿一日午前十時五十分湊町驛に御着御來阪遊ばされる

比日湊町驛構內には安井大阪府知事をはじめ宮中席次第三階以上有資格者、第四師團司令部各部長その他百五十名が御出迎へ申上げ御召列車御着と共に皇帝陛下には日滿大臣局長の御先導にて驛前より略式自動車鹵簿で市電南北線に沿ひ四ッ橋を東に折れ御堂筋から淀屋橋を經て大阪市役所横を土佐堀川に沿つて東へ公會堂に向はせられる、斯くて午前十一時大阪市民奉迎午餐會場たる大阪中央公會堂に御着加々美市長の御先導にて三階貴賓室に入らせられ、東久邇第四師團長宮殿下と御對面御挨拶を交され貴賓室に飾られた府市の獻上品及び盆栽、日本古代人形の體書などを御覽あらせられ、十一時三十分中央公會堂の奉迎式場に御臨場終つて午後一時二十分東久邇宮殿下を始め奉り諸員奉送裡に御發、同三十分大阪驛より御召宮廷列車にて須磨に向はせられる御豫定である

東大寺博物館で
天平美術を御覽

【奈良國通】滿洲國皇帝には今日御豫定の通り東大寺博物館を御覽あらせられたが、陛下が東大寺佛殿前の賓頭盧の前に立たせられたとき、これは何かとの御下問に對し櫻井管長は「これは釋迦の通譯をしてゐたもので今日の林出の樣なものです」と御答へ申上げた所御謹嚴な陛下も思はず御笑ひ遊ばされたと承はる、博物館に於ても天平美術の粹を蒐めた佛像書畫等をいとも御熟心に御覽あらせられ御豫定より十五分も遲れ一同恐懼した程であるが、殊に光珠の曼荼羅に對しては陛下が赤阪離宮に御滯在中光珠の曼荼羅を御覽あらせられた事がある關係上それと對照あらせられ御興味一入深く拜されたが、陛下の美術に對する御研究御理解の並々ならぬのには隨員一同御感服申上げてゐる

鯛網の準備成つて
光榮に勇む庄內村

【詫間國通】來る廿三日皇帝陛下鹼島に向はせられる御途次香川縣粟島沖において鯛網を御覽に供する光榮の香川縣三豐郡庄內村では臨時村會を開き千五百圓の奉迎費を可決し直ちに村內美化運動、道路の改修等を行ひ又同村箱浦小學校庭に於て村主催で報告祭を行ふなど溢れるばかりの熱誠を見せて居る、同日鯛網に奉仕する同村箱浦漁業組合は曾つて伊藤博文が李王世子殿下を御案內瀨戶內海御巡覽の際並に大正十一年縣下に擧行の陸軍特別大演習の際獺政宮殿下、閑院宮殿下に鮮鯛獻上の光榮を有する組合で鯛網奉仕の漁夫九十名の選拔については愼重を期して居る、又海岸粟島村でも御召艦御到着の當夜提灯行列、かゞり火などで御旅情を御慰め申上ぐべく萬端の準備を整へその日を御待ち申上げてゐる

滿洲國皇帝の
御下賜金
窮民救恤費

【東京國通】滿洲國皇帝陛下より政府に對し十五萬圓御下賜されたが、內務省社會局では御下賜の趣旨に副ふべく其使途について協議中であるが大體窮民救恤費として七萬五千圓を各府縣に分配すること に內定した

（寫眞は外交部所屬機關主任會議出席者及び同部司科長等）

外交部の
主任會議第三日

外交部所屬機關主任者會議第三日は二十日午前九時半より外交部會議室に開催され部外關係事務の連結打合せを行ひ正午散會した

安東滿洲側電話局
買收交涉成る

【安東國通】電々會社の安東滿洲側電話局の買收問題は昨年以來十九回に亘り折衝中であつたが、十九日午後七時に至り安東縣公署に於て富田憲兵分隊長立合の下に買收價格十二萬圓で妥協成立漸く正式調印を了した、引繼は六月一日からの豫定である

臺銀頭取に
安田氏就任？

【東京國通】大藏省では昨年四月帝人事件に連座し辭職せる臺灣銀行頭取島田茂氏の後任に關し種々物色中であつたが、今回元興銀副總裁安田次郎氏を起用することに決定、廿日午前津島次官は下二番町の私邸に同氏を招致し荒井銀行局長立會ひの下に臺銀頭取就任方を交涉せる結果、同氏の快諾を得たので來週早々閣議に上程、正式に決定發表の筈であるが、安田氏は日銀國庫局長を經て昭和三年五月興銀副總裁に就任、同五年十二月辭任後閑地にあつたものである

窪井參與官と
吉田軍務局長
あすあじあで來京

窪井海軍參與官および海軍省軍務局長吉田中將一行は既報の通り十八日大連着、目下沿線視察中で二十二日午後五時三十分來京、一泊のうへ駐滿海軍部を訪問し二十三日飛行機でハルビンへ出發二十五日再び新京に引返し關東軍をはじめ各方面を歷訪の豫定である

四月中旬
對外貿易概算

【東京國通】大藏省發表＝四月中旬內地及び外地（朝鮮、台灣）對外貿易概算左の如し（單位千圓）

△輸出	七四、一五七
△輸入	八五、〇八九
△合計	一五九、二四六
△入超	一〇、九三二
△一月以降累計 入超	一八四、二九七

尚中旬內地重要品輸出額左の如し

品目	金額
△輸出	
小麥粉	一、三八八
罐瓶詰食料品	一、六二〇
綿織糸	一、三四五
生糸	一〇、一九四
綿織物	一五、三八〇
絹織物	二、四〇七
人絹織物	三、三七九
メリヤス製品	一、三四五
△輸入	
小麥	二、五六八
豆類	二、七八〇
原油及重油	二、九一七
棉花	二三、五八八
羊毛	五、〇〇八
鐵	七、五〇五
機械類	四、九一七
木材	一、八五四

二月中の
貿易概況

財政部發表＝昭和十年二月分全滿貿易概況左の如し（單位國幣千圓）

	本年二月	前年同期
輸出	四三、四八四	三四、九八〇
輸入	四六、〇五六	三六、五六六
合計	八九、五四〇	七一、五四六
入超	二、五七一	一、六二八
一月以降累計入超	二、〇六五	出超 一、三〇〇

尚ほ二月中の重要品輸出入額は左の如くである

品目	金額
△輸出	
大豆	一七、四五五
豆粕	五、二四七
豆油	一、二四三
石炭	三、八六〇
銑鐵	一、〇六九
落花生	二、九二三
蘇子	一、二七二
栗	一、二七三
△輸入	
生綿布	二、四八七
漂白或染色綿布	二、七五五
綿織糸	一、六四五
麻袋	一、〇九三
手織物	一、二六九
絹織物	一、五一六
鐵及び鋼	四、四一四
機械及工具	一、六九八
車輪及船舶	二、二一九
小麥粉	四、七二五
砂糖	一、一八六
ゴム靴	一、〇三三

信語

けふは恒例の日滿聯合野球紅白戰をはじめラグビーや女子庭球などあり本社主催の全新京硬式野球大會も來る二十五日から始まる▼何といつても今日のところまだ〳〵人氣は野球に越すものはないがしかしこれには統制機關たる新京體育聯盟の存在が大いに役立つてゐること否めない事實であるが、その聯盟が資金難のためにに最近解散說さへ傳つてゐるのはすて置かれない問題だ▼新京體育聯盟の生れたのは確か一昨年の夏の頃だつたと思ふが成立後僅かに二年足らずこの間わが國都のスポーツ界が一新されたといつても過言ではない▼本年の各部のスケヂユールを見ても同聯盟成立前と比較して實に著しい進步發展に誰しも一驚を喫するであらう▼今度の解散說がたとひそれは單なる一部の流說にしても、吾々は神經過敏にならざるを得ない、お互に如何なる犧牲を拂つてもこのまゝ立派に存續したいものである

社說

植樹節に際して
滿洲綠化運動の意義

けふ滿洲國に於いては、實業、民政、文教、軍政の四部が共同主催者となつて大々的に植樹節が行はれる。われわれは此の日に於いて、滿洲の綠化運動が持つところの大きな意義について考察したいと思ふ

◇

滿洲に於ける綠化運動が、單に國土の美化といふ如き點にとどまるものでないことが先づ最初に注意されるのである曾つて滿洲の山野が美しい森林で蔽はれてゐたことは明かである。今日の荒廢は成算なき濫伐の結果に外ならぬ。植樹綠化はここに往古の美林を取り返し以て各種産業の基礎を築かんとするものであるなほ又これと相伴ふて連年滿洲國民に多大の損害を與へつゝある水害の難を除去せんとするものである。そしてその達成は同時に、水源の涵養を可能ならしめ、農業の集約化國土利用の集約度を高めしめる。更にまたそれに依つて水力發電の資源を用意することが出來る

◇

造林によつて得らるべき經濟的收穫は極めて明瞭である。第一に、木材、薪材の産出、更には木材纖維工業への原料給供である。次いでは畜産に於ける貢獻、すなはち野生毛皮獸の增殖である。更にまた農家副業の資源ともなる。これは特に冬期の長い滿洲に於いて有意義である。なほ又、かゝる物質的利得のほかに、國土の美化が國民精神の醇化のためにもたらす貢獻を無視することは出來ぬ。人はその住む環境によつて大きな影響を受ける、國土の荒廢は人心を荒頽せしめる。國土の美化はとりもなほさず大いなる社會敎化である

◇

われらは特にこの植樹節の日に際して、山を愛し木をはぐくむ精神が國民全般に徹底さるべきであることを思ふ。野に伸びる一本の若木にそゝぐ暖かい愛こそが、われらの四圍を美しく色どりそして經濟産業に大きなプラスを附與するその根本のものなのである心なき山野蹂躪を強力にわれらは排除せねばならぬ。このやうな意味に於いて、今日の式典に文教部が參加して學生生徒を動員し、これら若き世代をして綠化運動の勇進を期してゐるのをわれらは有意義であると思ふ。若き世代こそがやがて成長して、社會に大きく働き得るからである。更に又、軍政部が軍隊を動員せることも意義深い。それは、當面の問題としては警備治安の完全に結び付き、將來的には社會中堅分子の指導的地位の故に期待されるのである。滿洲の山野よ、美しかれ！われらは切にそれを希ふ

來栖ハルト兩氏會見
海運問題誤解々消
折衝促進に曙光見ゆ

【東京國通】十九日廣田外相主催の蘭印經濟長官ハルト氏の歡迎午餐會後來栖通商局長は外相官邸で同長官と會見、蘭印會商並びに海運問題に關し總括的に意見の交換を行つた結果、相當の諒解を進めると同時に誤解もとけ、兩者今後の折衝を促進する上に多大の貢獻を爲す所あつた、即ちハルト長官は交渉の停頓は要するに兩國の理解の不足により發するものなるが故に、此種通商問題を議するに當つても、先づ日本蘭印の文化的提携親善を進め、その友好的基礎の上に於て始めて有終の美を收めるものと確信すると大局的見地より日、蘭印兩國の親善關係の增進を切望するところあつたに對し來栖局長も至極同感の意を表し善處を約し、兩者は急がず夫々充分關係方面と打合せを行ひ、在蘭印の日本代表部（越田バタビア總領事）を通じて意思表示する事となつた、よつて外務省に於ても近く商工、大藏等關係省との間に協議を行ひ、日本のとる可き態度につき考慮する事となつた、交渉再開に關する事務當局の見解は極めて冷靜で、態度決定には尚時日を要するものと觀られて居る、なほハルト長官は夫人同伴廿日夜東京發京都大阪を觀光廿三日神戸より歸國の途につく豫定である

訪日視察團
歸國の途に

【門司國通】協和會訪日視察團一行六十名は福岡、鹿兒島を振り出しに東京大阪京都を始め主要各都市の視察觀光を終り一行頗る元氣にて本二十日門司發吉林丸にて歸國の途についたが、一行は訪問の各地到るところにて非常な歡迎をうけ、また畏くも皇帝陛下御訪日中の折柄とて東京、京都、奈良および沿道各地において全日本をあげての心からの御奉迎を目撃し日本朝野をあげての滿洲國に對する深い好意に非常な感動をうけ歸國の途についた

北鐵接收後の
各班の狀況概要

北鐵接收に際してハバロフスクのソ聯極東軍司令部より朝鮮人特務隊員十五名、極東共産黨大學より鮮、支人三十名を三班に分けて入滿せしめ暴動を企圖しているとの情報あり滿洲國、關東軍等警備機關では警備を嚴重にしてゐたがソ聯邦政府の統制力鞏固にして接收は豫想外に圓滑に行はれたが、接收後における貨物輸送狀況、新運賃率と北滿産業の關係、在哈露人商人および日本商人の進出狀況等を概觀してみる

◇

▲收入狀況―接收直後においては輸送の圓滑を欠き從來一日三萬圓程度の收入のあつたものが約一割に急減して三千圓位になつてゐたが先月末ごろより漸く回復し三十日には二萬六千圓にのぼり從來の平均收入に接近して來て居り概して好成績とみられてゐる

◇

▲日本商人の進出狀況―接收後一ヶ月足らずの間に邦人の進出夥しく、在哈邦人は五千人の增加を來してゐる、商店は殷賑を極め「接收景氣」を謳歌してゐるが從來ストックを藏してゐた卸商は新制運賃のために非常な打撃を蒙つてゐる模樣である、接收後資本金十萬圓乃至二十萬圓の支店或は出張所を設置したもの十數個、目下準備中のもの十數個あり小資本の開業者は五十軒以上に達してゐる

◇

▲露人商人は三月十一日假調印以來本國歸還者が商品を購入し各商店の販賣高は四―八割の增加を來し一例を擧げれば秋林商會の如きは平均一日五千―七千圓のものが昨今は一萬八千圓―二萬四千圓と三倍以上の賣上げを示してゐる然しこれらソ聯人相手の商人は前從業員歸國後の不況を見越して天津、靑島、上海方面に移轉準備中のものもあるが大部分の者は樂觀して居住するものとみられてゐる、ソ聯領事館當局では現金を國内に持ち歸らせんと努力し「物品を國内に搬入するものは歸國後沒收されるであらう」などゝデマを飛ばしてゐるが却つて歸國者に恐怖心を與へ不歸國心をそゝりつゝある模樣であるが大体において退職金の支給如何に拘らず在住せんとするものが半數の約三千人は確實とみられてゐる

◇

▲北滿産業に及ぼす影響―接收とゝもに從來の金ルーブル建を廢して國幣建とし國鐵の運賃率と等しくした爲旅客および一部貨物殊に南滿より北上する貨物は著しく低減されたが北滿産出の貨物にとつては、從來北鐵の採り來つた政策的運賃が廢されたゝめ却つて高率となり北滿農、工、商工業に相當の打撃を與へてゐる模樣で、特産、材木、製粉、油房業者は運賃低減に關する陳情運動を開始し當局でも相當の考慮を拂つてゐる模樣であるがこの問題は地方産業の盛衰にかゝる重大問題として成行を注視されてゐる

四月廿一日(日曜)午前十時ヨリ
新京記念公會堂ニ於テ
王道學會定例講義
主催　王道學會
後援　新京日日新聞社

恐怖の練獄（中）
倫敦タイムス記者の ソヴエート印象記
建設事業に懸る疑問

練獄の囚徒

最後にこの恐怖の最根底には―少數の例外を除きソヴエート民衆の大多數を不斷に苦しめつつある饑餓の恐怖の根底にすら―ソ聯の國境が凡ゆる意味で國民にとり乘り越えることの出來ない獄壁として聳え立つてゐることの事實を指摘せねばならね

ソヴエート領内に家族を持つ者がその家族を訪問したいと望んでもそのものの共産黨との關係―黨員たると單なる主義者たるとを問はず―が當人に關する一切の疑惑を一掃するに充分緊密強固たらざる限りは幾何の旅券査證料を支拂はうとも將又如何に多額の外國貨に依る保證金を積立てようとも出國の許可を得ることは斷じて不可能とされてゐる、謂はゞソヴエート國民たることは終身刑を課せられたると同樣で之に對する諒訴上告は九十九パーセント效果の期待出來ないことである

充滿と空虛

ソ聯はその「五ケ年計畫」なる標語に依つて同國が抱懷する一切の野心を表現してゐる、併しこれが眞の意味に於て完成されるのは今から數代も後のことだらう、ソヴエートが能くその所期の目的を達し得るや否やは一つに懸つて今後に形成される新國民―舊思想に依つて染色さるゝなく革命戰の洗禮を受けず搖籃より出でゝ直ちに新時代の空氣を吸つた新生の民―にある

ソヴエートの國民性は確に變化した、但しそれが良き意味に於ての變化であるか否かといふ點に至つては猶幾多の疑問が殘されてゐる、然しその生を世に享けると共に自然に新事態との接觸を保つて來たソヴエート青年大衆、少くともその中での都市生活者のみはこの新時代を一切の批判抜きで熱烈に謳歌し讃美してゐる樣である、唯然し乍ら前述ソヴエート民衆の間を一貫して流れる恐怖心が彼等新分子の上にも識らず〳〵不健全な影響を齎らせてゐる事實は見逃すことが出來ない

ソヴエート政治教育の効果の著しきには驚かざるを得ないものがあると共に他方智能養成といふ點から見て同國が教育上に設けてゐる弊害多い幾多の制限も亦之を默過することは出來ない、ソ聯の若きコムミユニストは恰も卵の鷄肉に於けるか如くマルキシズムに充滿しきつてゐると共にそれ以外の事項に亘つてはこれは又完全に空虛であるといふことが出來る

右の事態がソヴエートの根源をなしてゐるのである併しこれは遠からず同國につて一つの大きな弱點になることが暴露されるに至るであらう

文化面から覗くソヴエート

兎も角今日ソヴエート者がしてゐる偏狹固陋さには眞に驚くべきものがある

さりとてソヴエート政府は文學劇、美術等に依つて示現される文化面は之を決して無視しようとしてゐるものではない、否寧ろ大いに之を尊重してゐることが窺はれる、例へば劇場であるが少くともそのモスカ、レーニングラードに於けるものには壯麗目を眩せるものあり、觀劇に集る一般民衆の人氣は全國的に非常なものである、然しソヴエートの劇作家は今も猶テーマを求める上に於て常に其時々の黨イデオロギーに依つて規定された線上を歩んで一歩外れる事を許されない、斯る狀態にあつて例へばシエークスピヤ物ですらもが十九世紀獨乙評論家に十二倍する怜悧さを持つたソヴエート理論家に依つて世界革命煽動の役割を勤めさせられてゐるのである映畫に至つてはソヴエートは歐米より遙かに立遲れてゐる即ちサウンド映畫の出現に依つて新しい設備と新しい技術を必要とするに至つた結果十年前無聲映畫の製作に於て一頭他に抜きん出てゐたソヴエートも遂に共指導的地位を失ふの已むなきに至つたのである

文學美術に於けるソヴエートの政策は一見極めて活潑なるが如きもその實際に反映してゐる處は敗頽、退嬰し切つてゐる

今日のロシアは才能あるものに取つての天國である、何人も何等かの才能を持ち且將來の見込ありと認められたものに對してソ聯政府は惜むところはなく凡ゆる保護を與へてゐる、然し乍ら不幸過去凡譯の經驗は斯くの如き溫室的環境に於ては創造衝動が容易に起り得ないといふことを示してゐる、斯く註譯しつつ筆者は現在ソヴエートに於て少くとも美術界が受けてゐる報酬の不當に高いことを特に指摘して置き度い

滿洲國辭令

財政部事務官　木村常治
同　今里進三
給八級俸 財政部技佐　井深文司
給六級俸 税務監督署副署長　阪田純雄
給二級俸 税務監督署理事官　渡部益夫
同　石川周治
給六級俸(各通) 税務監督署理事官　内山正友
同　竹田武人
給七級俸(各通) 同　太田直一
同　間山無事夫
給二級俸(各通) 税務監督署事務官　加藤能治
同　栗田千足
同　濤山佐治郎
同　三上宇吉
給三級俸(各通) 税事監督署事務官　小西三郎
同　小池孜
同　原信夫
給四級俸(各通) 税捐局理税官　小村專一
同　矢島好敬
給五級俸 税關監視官　安滿俊行
給四級俸 税關監査官　島乘一
同　柏原尋保
給二級俸(各通) 税關監査官　松尾九十九
給三級俸 税關監査官　根本祐
同　藤井武人
同　小栗義孝
給四級俸(各通) 税關事務官　安養寺哲
同　香曾我部太郎
同　大屋元
同　本間良太郎
給三級俸(各通) 税關事務官　鐘ヶ江恒太郎
同　齋藤龍吉
同　中村大助
給四級俸(各通) 吉黑榷運署理事官　高谷大二郎
給三級俸 專賣公署理事官　天野作藏
給二級俸 專賣公署理事官　竹內元平
給六級俸 專賣公署事務官　小中高茂
同　市川正俊
給一級俸(各通) 專賣公署事務官　齋藤良衆
同　花田博
給三級俸(各通) 專賣公署事務官　北村龍三郎
給四級俸 專賣公署事務官　重松三郎
給八級俸 鹽務署理事官　小澤茂一
給四級俸 鹽務署理事官　會田泰
給六級俸 實業部理事官　美濃部洋次
同　林丙炎
給三級俸(各通) 實業部技正　青山敬之助
給二級俸 實業部事務官　萩尾全一
實業部技佐　井上義人
給七級俸 中央觀象臺技佐　土佐林忠夫
給七級俸 交通部理事官　荒木萬壽夫
給二級俸 郵政管理局副局長　代谷勝三
給一級俸 郵政管理局副局長 郵局事務官　中島俊雄
給二級俸(各通) 司法部理事官　關口新男
給一級俸 同　鶴野茂

商況欄（四月二十日後場）

金銀市況

●上海標金　前引 ―　後寄 ―　步 ―

●大連金鈔票　現物　寄付 一三五、一〇　引 一三五、五五(?)　出來高 五萬(?)
四月廿八日限　寄付 一三五、三五　引 一三五、三〇(?)　出來高 [illegible]
五月十三日限　不申

●大連鈔票銀大洋　現物　二九、〇〇　二九、〇〇

●奉天國幣對金票　現物　一一〇、一〇　一一〇、一五(?)
▲四月廿八日限　寄付 九〇七、五〇(?)　引 九〇七、五〇(?)　出來高 一七萬(?)

爲替相場

▲上海爲替
▲日本向　第一回買賣 ―　第二回買賣 ―　第三回買賣 ―
▲倫敦向　第一回買賣 ―　第二回買賣 ―　第三回買賣 ―
▲紐育向　第一回買賣 ―　第二回買賣 ―　第三回買賣 ―

▲大連爲替
▲上海向　一〇三五〇〇　一〇三三五〇
▲臺灣向　[illegible]
▲阪神日米爲替　第一回買賣 ―
▲阪神日英爲替　第一回買賣 ―

株式相場

▲大連株式(短期)　寄　引
五品　[illegible]　―
豆新　[illegible]　―

▲奉天株式(短期)　寄　引
鈔票、東新、日産、鐘紡、滿鐵、二新、滿取、東新、鐘新、日産、大新、五品、豆新、電甲、同乙、滿鐵、二新、東拓、東亞、日魯、滿興、滿毛、優先　[illegible]

特産市況

●大連大豆　(袋込)　四月限、五月限、六月限、七月限、八月限　[illegible]
●同豆粕　現物、四月限、五月限、六月限、七月限、八月限、九月限　[illegible]
●同豆油　現物、五月限、六月限、七月限、八月限、九月限　[illegible]
●同高粱　現物、四月限、五月限、六月限、七月限　[illegible]

新京取引所市況（四月二十日後場）

●大豆　現物（一石値段）　定期（混合百斤値段）　寄　引　出來高
現物、四月限、五月限、六月限、七月限、八月限　[illegible]
●高粱　現物、四月限、五月限、六月限、七月限、八月限　[illegible]
●鈔票對金票　二十八日限　十三日限　寄　引　出來高　[illegible]
●國幣對鈔票　二十八日限　十三日限　寄　引　出來高　[illegible]
▲哈爾濱大豆　八月限　[illegible]
●同小麥　五月限、六月限、七月限　[illegible]

手形交換（二十日）

金票　一六七枚　[illegible]
鈔票　四〇枚　[illegible]
國幣　三三枚　[illegible]

畑週報現物氣配

銘柄（順に）：四分利(二)　滿洲建國　滿洲四分　正隆銀行　滿洲銀行　新京新株　滿洲電燈　東京電話　大同電新　電信電乙　電信取引　新京拓新　東洋產信　不動產動　鞍山積株　旭紡紡積　滿洲製麻　滿洲麻新　奉天亞麻　日蒙毛織　滿洲棉花　滿本糖新　日海製糖　北洲麥酒　滿洲製紡　日滿船新　商船　川崎造船　滿洲興新　土木企業　新京建業　東亞殖物　大同產產　太陽產業　周水土地　滿洲工廠　滿洲化工　日滿アルミ　日滿パルプ　東亞煙新　東亞煙草　滿洲漁新　日魯漁新　滿洲セメント　哈爾賓セメント　日本電工　同新

拂込：[illegible]

最近配當：五　四　四　四　四　五　八　四　繰越　六　六　欠損　繰越　五　繰越　六　一〇　一〇　一〇　未配　五弱　六　一〇　八　未配　未配　五　未配　八　八　一〇　五　無配　無配　無配　八　四　未配　九　未配　一二　未配　未配　三　三

時價：[illegible]

北滿

滿蘇國境地帶の電話網擴充計畫
將來は警察專用電話も架設
濱江省の治安工作進む

【ハルビン支局發】濱江省公署警務廳では管內治安の維持確立と警察事務の連絡簡捷をはかるため警察電話の擴張を企圖し縣公署當局を鞭韃して之が增架設をはかることとなつた

省制度實施前、濱江地區は北滿特別公署並に治安維持會が協力して五十萬圓の巨費を投じて警察電話の擴張をはかつた事あり特區管內と特區に隣接せる諸縣は電話網はほゞ完成してゐるが、蘇聯と境してゐる東部國境地帶は未だ滿足すべき域に達してゐない、國境地帶は國防上毫も油斷が出來ない現狀にあり、且つ中部高原地帶は常に匪賊の巢窟となり、ともすれば王道治下の安居樂業を蹂躪さるゝ虞あり、而も急を要する匪賊情報のごとき遠隔の縣にあつては、常に敏活を缺ぐ憾みあるに鑑み今般管下各縣の電話網擴張をなすこととなつた

之に要する費用は縣公署において負擔せしめ、不足額は東防地區治安維持會から補助することとなつてゐる、電話網完成の曉においては各縣間の連絡も圓滑に行はれ、將來は省公署警務廳とも警察署用電話の架設をみるに至る可く、管內の治安維持に警察の能率增進に多大の便宜をもたらすものとして非常に期待されてゐる、右に就いて高山司法科長は語る

現在濱江省として最も緊要なのは治安の確立である、治安の確立には警備力の充實と警察機能の發輝である。それには何うしても警察專用電話の架設が必要である縣警務局と管下警察署との專用電話は、縣當局で架設してもらふ事にした、費用の足りない分は治安維持會から出してもらふことに諒解が出來てゐる、將來は縣警務局と警務廳間に直通電話を架設したいと思ふが、その方までは手がとどかない、管下諸縣の電話網が完成すれば獨り警察關係のみならず地方產業文化の開發にも間接に裨益するところ多大であらう

回收成績不良のため春耕貸欵廢止
特種地域に限り許可

【ハルビン支局發】中央銀行當局では回收不成績のため今年度よりは春耕資金の貸附廢止に決定したが特殊の事情に基くものだけは之を繼續することとなつた。農村救濟のため滿洲國政府では大同二年全國一齊に中央銀行の手を通して貸附けた春耕資金は

大同二年度　一千二百六十五萬圓
康德二年度　一千五百五十七萬圓
合計　二千八百二十二萬圓

貸附　二千八百二十二萬圓
回收　八百五十萬圓
未回收　一千九百七十二萬圓

の有樣で、中央銀行では民政部、財政部、實業部、中央銀行から成る中央統制委員會に諮問した結果、本年度は政策的見地から貸附を原則的に廢止することとなつた。從つて今後從來の成績を見て回收良好なる縣には個別的に交涉の上、依然貸附を繼續し、又特殊なる天災による兇作地帶には、その場合々々を考慮して貸附を行ふものである、右に關し濱江公署實業廳當局に訊せば次の如く語る。

當省では中央部の意向に基き康德二年度から貸附を廢止した。天變地異によるか兇作の場合を除く他は之を行はない方針である。當省には舊吉林省舊黑龍江省の春耕資金、舊吉林省農民復興資金、商工復興資金の四種目、五、六百萬圓のものがある

今後は貸附はやらぬが、農民の負債になつてゐる右四種目の整理を行ふため濱江省春耕資金管理委員會を組織し、委員會によつて中央統制をなし、末回收資金の調査を行ふことにした、二回にわたる水災のため當省の回收成績は頗る不良で二割程度の償還をなし地域別に着々整理を行ふことにならう

筑紫參議　チチハル視察

【チチハル國通】昨日來齊した筑紫參議は本日衞戍病院に傷病兵を慰問後屠殺場、女子敎養院、省立學校の視察をなしたが、二十日午後零時四十分發列車で昂々溪に向ひ三時二十分同地發列車で滿洲里に向ふ豫定

滿蘇直通列車連絡會議　開催地は哈市か
ソ聯從業員の歸還完了を俟ち

【ハルビン支局發】北鐵讓渡基本協定第十三條に準據して調印後三ケ月以內に開催さるべき滿ソ直通列車連絡會議については、去る五日ソ聯政府は前北鐵管理局長を代表に任命し、可及的速にその開催方を希望してゐるに鑑み、滿洲國交通部では大橋外交部次長の歸京を待つて森田交通部路政司長、藤原交通部郵務司長三氏は、大橋次長の國境地帶視察調査を基礎として、之が對策につき鳩首協議した、その結果

一、汽車聯絡に關する條約案は交通部路政司で
一、電信聯絡に關する條約案は交通部郵務司で

それ〴〵原案を作成してソ聯側に提示し條約締結をなすこととなつた、との右情報をもたらして哈鐵當局を訪へば左の如く語る

技術的に言へば直通列車聯絡を主体と考へれば、連絡會議に於て電信聯絡の取きめをなすとは考へられない三ケ月以內に會議を開催することは基本協定によつて取きめられてゐるので、近き將來に會議を開くことは間違ひないが、傳へられてゐるが如く四月下旬又は五月中旬開催說は、余り先走りすぎてゐると思ふ、會議地がハルビンになるかどうかは、まだきまつてゐない但し哈鐵の根據地であり、ルーデー氏もゐることだからハルビン說はたいてい動くまい、會議のスタッブ、メンバアが如何なる人々になるか、はつきりしないが交通部、外交部、日本軍部鐵路總局、滿鐵の各代表者によつて結成される尨大なものになるか、宇佐美、佐原の兩氏が全權を委任されて接衝するかこの內どちらかであらう　まあソ聯從業員の本國歸還が完了してから始めても遲くはあるまい……

哈爾濱交易所　定期株主總會

【ハルビン支局發】哈爾濱交易所では下半期の決算報告をなすため定時株主總會を五月十五日午後二時から日滿俱樂部に開催することゝなつた、席上左記數件を附議決定する

一、下半期決算報告の件
一、前任理事長陳式銅氏へ退職慰勞金贈呈の件
一、定款の一部變更の件
一、前任理事長逝去につき理事長選擧の件

南滿

靖安軍戰歿者慰靈祭

【奉天國通】昨年秋東部國境綏寧地區に於ける討匪に出動中名譽の戰死を遂げた靖安軍美崎部隊笹下少校以下卅一勇士の葬儀は既報の如く十八日靖安軍步兵第一團營庭に於て將兵一同整列の裡に嚴肅に執行され美崎靖安軍參謀長兼第一團長の英靈を祭るの文に次ぎ第一軍管區司令官于芷山上將及軍政部最高顧問佐々木少將の祭文が靈前に供へられた

鹽務署員　佐野氏殉職

【安東國通】營口鹽務署興京駐在主任佐野豐（二七）氏は去る十一日バスで通化に赴く途中嶺山嶺で匪賊に襲はれ重傷を負ひ興京守備隊に救助せられ撫順滿鐵病院に入院加療中であつたが十六日午後遂に殉職した營口鹽務署では二十日午後四時から營口で署葬を執行する筈

營口領事館管內　第一次署長會議開催

【營口國通】先般の警察署長大異動後に於ける營口領事館管內の第一次署長會議は十八日午後三時半より營口領事館にて太田領事、寺尾營口、河野大石橋、谷本瓦房店の各署長出席の下に開催種々打合せを爲すところあつた

東滿

吉林魚菜市場設置　省公署の原案成る
市政籌備處の管理下に置き代行會社を設立經營せしむ

【吉林支局發】當地に完全なる魚菜市場を設置して市民に一層の便宜を與へよとの議は昨年中商工會によつて唱へられ幾度も案を錬つて居たものであるが、商工會が商工會議所に進展して以來從來の自由營業的色彩を脫して市場法に則る公共機關たらしむることに傾き、省當局に之れが原案作成を依賴中の處、最近夫れが完成したので同所主催の下に十六日午後二時より民會樓上に三浦總務廳長、森岡總領事、町田總務科長、吉野籌備處副領事、木島書記生、商工會議所議員、其他關係邦商等が集合し原案につき種々懇談するところあつたが、同案は市場を市政籌備處の管理の下に置き代行會社を設立して之れが經營に當らしむるを主眼とするもので會議所側にては細則に亘り愼重に研究するの必要ありとなし、今後同業につき民間側にて十分に研究する事として此日の會食を閉ぢた

金玉女歸順

【圖們國通】本籍不詳間島省汪淸縣春融郡龍昌洞金玉女（一七）は妙齡の身を以て共產黨武裝婦人團に加盟し圖寧線奧地方面に宣傳ビラの撒布密林地帶の步哨等女ながら盛んに活躍して居たが、本月十三日彼等の根據地たる奧地春草鄕方面に宣撫班の一隊が出動して淚ぐましきまでの獻身的努力で滿洲帝國の精神、五族協和の高遠な理想を鼓吹する熱誠に感激して潔よく轉向を誓ひ十五日圖們に出で憲兵分隊に出頭して泣いて歸順を誓つたので同隊でも之を聽許し且つ同女の配偶者を斡旋し結婚生活に入らしめて生活の保障の下に善良なる移住民として第一線に勤勞せしむる樣溫い救ひの手をさし伸べる模樣である

二道河犧牲者の二週忌執行

【敦化支局發】敦化領事館警察では十八日午前九時から北門外西本願寺に於て昭和八年四月十八日二道河に於て遭難した犧牲者の二週忌を執行草野領事代理以下署員一同及び當時共に遭難した生存者林政虎、成戶保兩氏も參列盛儀を極めた

吉林神社の地ならしに市民の勞力奉仕

【吉林支局發】吉林在留邦人の守護神として崇敬の的となつゐる吉林神社は昨年來の殘工事も近く完成し境內も追々に整頓される筈であるが、同處はもと畑地であつて凸凹が甚しいので、十五日在鄕軍人役員會に於て協議の結果同神社境內の地ならしを分會主催の下に一般居留民、在鄕軍人會員等の無料奉仕によつて行ふことゝし、十八日より五月十二日迄每日朝夕二回宛鍬、ツルハシ、スコップ等各自持寄りにて奉仕的作業をすることゝなつた、而して此奉仕者の名を永久に殘す爲めに奉仕帖を作り每日奉仕した人に署名して貰ひ之を神社に奉納する筈であると

塔子溝の護り　故沈氏木碑成る

【龍井國通】去る四月四日塔子溝架橋部落が共匪に襲擊された際、身を挺して部落を守り壯烈なる殉職を遂げた同部落自衞團副團長故沈通澤氏の功績に酬ゆるため擧て同部落民の發起で建設中の木碑は此程完成盛大なる除幕式を擧行した、木碑は自衞團事務所附近に建設され高さ二丈五寸角のもので表面に「嗚乎壯烈自衞團副團長沈通澤氏奮戰殉職の地」と記されて居る

國際大勝　對稅關野球試合

【間島支局發】去る十四日圖們小學校グラウンドに於て稅關對國際運輸の野試球合を開催した試合は先づ國際先攻にて火蓋を切り、十四對五の差にて稅關の奮鬪遂に空しく國際運輸の勝となつた此の日は日曜日に惠まれ而も圖們あたりではまれに見る好試合とて人出多く盛會であつた

間島に天然痘發生

【間島支局發】原籍慶尙北道大邱府生れ當時圖們市陽明街丸吉食堂方女給高福祚（一九）は四月十二日項から發熱加療中の處十六日眞性天然痘と決定即日附近一帶の大消毒が行はれた

龍井商工會の期成委員會
五月中旬總會開催

【龍井國通】滿洲國建國以來所謂景氣の圈外に抛り出されて圖們、延吉の急激な膨脹を見乍ら舊態依然たる龍井を根本的に建て直す目的で地元商工業者間に商工會結成の氣運が動き、寄り〳〵協議中であつたが最近急速に話が進み、去る十七日夜內地人民會々議室に於て委員十五名參集、龍井商工會期成委員會を開き、先づ期成委員會長に杢茂一郎、姜載厚の兩氏を選定したのち規則起草委員として杢茂一郎、伊藤福一、知場伊勢松、姜載厚、李泰俊、全昌根の六氏を擧げ協議の結果、近く規則起草委員會を開いて規則を起草その上で直ちに期成會の委員會を開き創立總會を開催する事となつたが、五月中旬頃までには創立總會を開催する模樣である

間島共匪　蠢動を始めた

【龍井國通】打續く大討伐と大檢擧で間島名物兵共匪は數字的には激減を示してゐるが今尙治安狀態の惡いことは全滿第一と稱せられ、又昨年の間島地方大凶作のため生き殘つた兵共匪は何れも兇惡な者ばかりなので、春になると同時に一齊に蠢動を開始し、十八日總領事館に達した拉致報告のみでも次の三件がある

一、去る十三日夜八時頃長銃及び根棒を携帶した滿人匪賊五名が哈爾巴嶺南溝に出現、同地居住の鮮人金東禹（二九）を拉致して敦化縣四道河子方面に引揚げた
二、十三日午後九時頃系統不詳の武裝共匪三名が明月溝管內小御木溝に現はれ滿人永許（五〇）を柳樹河子方面へ拉去した
三、十六日午後四時頃約八十名の賊團が大明月溝五鳳村に現はれ同地居住滿人盛萬山（五〇）方に於て朝飯を食した後同地滿人對星（三〇）を拉致して三道溝方面へ移動した

新京日日新聞社學藝部主催
新京ラヂオ・ドラマ研究會第一回放送脚本

ラヂオ、コメデイ 晩春騷夜曲

(禁無斷放送)

近東綺十郎 原作

時代—昭和十年五月
場所—滿洲國の首都新京(附屬地)
人物—
若い夫 花房 (廿八歳)
その妻美耶子 (十九歳)
友人 中林 (卅二才)
同 平山 (廿六歳)
同 川路 (廿七歳)
酒場バルセロナのマダム (廿七歳)
同女給 銀子 (廿二歳)
同 加代子 (十九歳)
外通行人等大勢

× ×

第一景

花房夫妻の住居—遠くレコードが春の流行歌をうたつてゐる。夫は新聞をよみ、妻の美耶子は毛絲の玉を弄んで春のスエーターを編んでゐる

—あなた。
—うむ。
—何していらつしやるの
—新聞を讀んでるよ。
—眠つてゐらつしやるのかと思つたわ。
—眼はあいてるよ。
—ぢや、そのたばこを灰皿の中に落しといて下さいな疊に落ちたら大變よ。
—そうだね。
(間)
—ねえ、あなた。
—なんだい。
—何を考へてゐらつしやる。
—どうして……
—まあ、いやだわ、そんな怖い顏して
—怖い顏になつたかな、怒つてる譯ではないんだがね
—何か話しない。
—どんな話を?
—どんなつてないわ。どこのうちだつて二人切りの家庭では、今少し仲の良いものだと思ふわ
—そうかなあ
—あなた近頃ちつとも妾の事なんか考へて下さらなくなつたのね。
—そうでもない。
—そうよ。昨年の今頃のことはもうお忘れになりましたの。あの頃は妾も幸福だつたわ。あなたはいつも早く歸つて、毎晩吉野町や日本橋通を散歩しましたわ。
—埃がひどいから、散歩は止した方がいいよ、衞生上ね
—よく行つたリラ喫茶店などどうしてるでせう。あそこのコーヒーには思ひ出があるわ。
—まづくつてね、リラのコーヒーは……おまけに濕湯みたいだと來てやがる。
—だつてあなた、そんな惡口言つちやいけないわ。あなたは妾を始めてリラにつれていらした時、こう仰言いましたわ。『僕は君と東京で別れてから一年間、寂しくなるといつもこの店に來てコーヒーをのみ、レコードきいては、君の事ばかり考へてゐたよ』
—おいおい、分つたよ。つまらないところに物覺えがいいんだね。もういいよ。
—いいことない。もつといろいろのこと言つてあげませうか。妾はあなたが東京に下すつた手紙だつて、一つ一つ覺えてゐるわ。
—弱つたものだな。
—だつてそうよ。たつた一年の間に、あなたが余り冷たくおなりになつたんですもの(泪聲になり)妾も母さんも貴方にだまされたようなもんですわ。『若し君が新京に來てくれないなら、仕事をしても望みがないから、奥地の出張所へでも志願して行つて失ひたい、なんて手紙を下すつたのはどなただつたんです?
—僕だよ。僕だよ。そんなに君興奮しちや困るよ。さ、涙をお拭き。女つて、どうしてそういつまでも夢の小鳥のように空想がお好きなんだらうね。
—たつた一人のお母さんを東京はおいて、妾はあなたに冷たくされて………どしたらいいと仰言るの。妾東京へ歸りたくなつたわ。妾はもうどうせ、こんな駄目な女ですから東京へ歸つて一生涯獨身でお母さんと二人で暮しますわ。
—美耶ちやん。(やさしく)……美耶子さん、そんな赤ん坊みたいなこと言つちや駄目だよ。ね、泪をふいてあげよう。ハンカチをお貸しよ。あんまり孕れるから、今川燒のおかめの顏みたいになつちやつたよ。
—いや、いや、知らないわよ
—まあ、そう怒るんぢやないよ。ね、美ーチャ、ミーチエンカ、機嫌を直して、レコードでもおかけよ。ネ
—………………
—どうしたい。こら、默つてるとくすぐるぞう—一寸、笑つて御覽、アバババババー
—ホホホホホ
—そらそら笑つた、狐雨みたいにすぐ晴れた、今泣いた烏がもう笑つた—
—まあ憎らしい、貴方つて方はほんとに髑ね、好い加減人を茶化してしまふんだもの
—茶化す…そうぢやないよ、一生懸命君の機嫌をとつていたんだよ、君がいふ仲のいゝ夫婦つてのを實演したんぢやないか、あゝ之でやつと安心した、あああああ、全くどうにも君には手古ずるからね、アツ、そうだ忘れてゐた、何時だ、九時…丁度いゝ、鳥渡出て來なくちやいかん、大和ホテルに本社の業務課長が來てるんで行く約束がしてあるんだつたつけ(九時を報ずる時計の音轉じてカタカタといふ足音になる)

第二景

酒場バルセロナ—ジャズ曲が逬つてゐる、ガタンと外扉が開いて花房入つて來る

—おい、銀子ちやん、マダムはゐるの
—あら、いらつしやい、どうしたのネクタイがまがつてよ
—少し社の用事がおそくなつたので急いでたもんだからね、マダムはどこにゐるんだい
—まあ、入る早々から、何ですか、まあ落ついてそこにかけたらどう
—それもそうだ、マダムをもつて來てくれ、それからビールに僕が來てるとそう言つて
—何を言つてるのあんた、ビールに何を言ふんですつて
—ビール、ビールはのむのさコップについで、ギューツとのむんだよ
—ビールはのむものなの、そう、ぢやマダムは……
—うるさい、早くもつて來い
—はいー、はい
(女去る—間)
—あああ、苦心したなあ今夜も、晩飯をくつてから、家を出るまでの苦心つたらないね、今夜もワイフが新聞をよんでるのか眠つてるのかなんて聞いてゐたけど全く新聞の上に顏をおいてるだけで、此方は策戰計畫に夢中だつたんだ、實に苦勢するよ
—花房さん、何を一人でぶつぶつ言つてゐらつしやるの
—何も言つてやしないよ、ねえ銀ちやんマダムはゐるんでせう
—今日はいないの
—へーつ、ゐないて
—泣き相な顏するんぢやないのよ、マダムはね、今晩の十時の汽車で大連の彼氏のとこへ會ひに行く譯なのよ今頃は町でお土產でも買つてるわよ
—チ、畜生、うまいことだましやがつたな、よし、それなら俺驛で待つててやる
いきなり椅子から立上ると、手荒く扉の音をさせて外に飛び出して行く
—花房さん、どこに行くのよあら〱血相かへて飛出したわ
女給加代子出て來る、
—姉さん、どうしたの
—妾、うつかりマダムの大連行を言つちやつたもんだから花房さんが血相かへて飛び出して行つたわ
—心配だわ
—ほんとね、ちやうど春で少し氣が變だからとんだ事になるんぢやないかしら、尤も別に危いものも持つてはゐない樣だし、花房さんはお坊ちやんだから大丈夫と思ふけど
中林六郎之亦周章の態で入つて來る
—ま、驚いた、どしたの、中林さん
—おい、ここに花房來なかつたかい
—花房さん?あゝ恰度いいわ今驛に行つたのよ
—え、驛に、ぢやもう知つてるのかな
—妾がうつかり言つちやつたのよ、あの方がそれ程マダムに夢中だとは知らないんだから、御主人も御子さんもあるマダムに思ひつめてらつしやるのが可哀相だと思つてね
—話がちがふよ、花房の奥さんが、今内地に歸ると遺書を殘して飛出したんだよ
—花房さんの奥さん?!あらあの方奥さんあるの
—昨年貰つた許りのがあるんだ、花房はまだ知らないけどうちのワイフのにらんだ所ではどうも姙娠してるらしいと言ふんだ、花房が驛に行つたのはそれを知つてぢやないんかい
—ちがふわ、妾うつかりマダムが大連に行くつておしへたからよ、血相をかへてとんで行つたから早く行つて止めて下さいよ、妾こはいわ
—そりや大變だ、どうも變だと思つてゐた、あの野郎今日は一つとつちめてやらう さよなら……
(中林出て行く、レコードだけが鳴つてゐる)

第三景

(驛の待合室の前—雜踏)

ラウドスピーカーの聲—二十三時發大連行列車、二十三時發大連行列車の開札をはじめます
—車掌さん、車掌さん
—はい、何ですか
—ハルビン行は何時ですか
—二十三時、大連行と同時です。
—一寸、お伺ひしますが、ひかりはもう着きましたやろか?
—一時間前につきましたよ。
—入場券賣るとこ何處なんだい
—モシモシ、えらい濟んませんが、
—ハイ〱、
—タバコの火を一寸借しておくんなさい
—母ちやん、林檎がたべたいや
—シャンが來よるわい。ヘッ用心棒みたいに親父の奴放れよらんわい。
下駄の音、話聲、叫聲、悲鳴
—やあ、マダム、今晩は。…盛裝をこらして浮氣旅行ですか、
—あら川路さん、何してゐらつしやるの。どちらかお見送り?
—マダムを見送りに來たんですよ。大連ですつてね
—誰にお聞きになりましたの急用が出來たので一寸行つて參りますわ。あとはよろしお願ひしますわ。…あのそれから花房さんにも宜しくね、
—本當の事を言ひませうか、マダム……驚いちやいけませんよ。花房は實はあなたが大連に行かれる事を知つてもう一足先にホールに待つてるんですよ。
—(駭いて)えつ、川路さん それ本當なんですの、まあ………
—驚いたでせう。目の色をかへてね、蒼白になつちやつて、……奴は貴女からテッキリ騙されたと思つて、すつかり思ひつめちやつたらしいんです。
—川路さん、本當かしら、……妾、妾困るわ、どうしませう…どうしませう
—相手は戀に眼の昏んだ狂人同樣だから手がつけられない。ピストルでも持つて來てドン
—キヤツ、
—ハハハヘヘハ
—冗談ぢやないわよ川路さん……そんなに脅さないで助けて下さいよ
—しかも困つたことに、花房には昨年東京で結婚して來た、美耶子さんと言ふ新妻があるんです。花房は新婚一年たたぬ間に貴女に夢中になつて家には寄りつかない。一人ぼつちの心細さも女心の寂しさから、しかと今夜、東京のお母さんの許に歸るのだと言つてその奥さんが遺書を殘したまま飛び出しちやつたのです。
—だつて妾、花房さんに奥さんがあるなんて事聞いた事もないし、夢にも知らなかつたんですもの…そしてその奥さん、何時頃家出なすつたんです?
—一時間も前ですかね、……蛇度此の汽車に乘つてるんだと思ひますがね、それを聞いた時には花房も流石に夢のさめた樣な顏をしてね、知らせに來た中林と二人で今、ホームに行つて奥さんを探してるところなんです。僕は貴女がいきなり花房たちに會はないようにそいつを知らせる役目で、此處に立つてた譯なんですよ。
—ありがとう、川路さん……奥さん大丈夫かしらね
—此の汽車より外にはないんだから、恐らく大丈夫と思ひますがね。奥さんの手紙によると、花房とその好きな女の人の幸福のため身をひくと書いてあつた相ですよ。それにたつた一人のお母さんの許に歸りたいと口癖に言つてゐられたらしいから、眞逆死ぬなんて恐れはないだらうと思ふんだ。
—悪かつたわ妾、そんな事だと知らないものだから、……實は妾も大連には主人と二人の坊やがゐるんですの、大連で主人はビリヤードをやつてるので、急用が出來ていま行くとこなんですわ。別に花房さんをどうしようつて譯ぢやなく矢張りお客さまだから……
—來た〱、奥さんも見つかつたらしい
—なる程、ハ、、流石に花房の奴しほれてやがるハハハ
—よう、諸君、御苦勞さん、やつと見つかつたよ。一足ちがいで大變な事になるんだつた。
—諸君濟まなかつたね。俺も何だか變んな夢を見てゐた樣な氣がするよ
—奥さん、もう大丈夫です。御紹介しませう。マダム、此の方が花房君の奥さんです。此方はバーバルセロナのマダムでね。大連でビリヤードをやつてゐる御主人と二人の御子さんに會ひに行らつしやる處なんです。
—奥さんで御座いますか、あたしバルセロナをやつて居ります瀨波多と申します、今度は妾が至りませぬため大變御心配を御かけ致しました相で、……さぞお腹立ちで御座いませうが、どうぞお許しなすつて下さいまし、
—いいえ、みんな妾がいけないんで御座いますわ。妾がいけないものだから……皆さんに御迷惑をおかけして
—美耶子、いいよ、僕が悪かつたんだよ。もう決して一人で外なんか出ないから、許しておくれ。
—奥さま、どうぞ御安心なさつて下さいまし、妾はただお客樣としておつき合ひして頂いておりましたが、これからは奥さまとも親しくして頂いて一人でなんかおいでの時はお電話致しますわ。
—よろしくお願ひ致しますわ此方にはどなたも御友だちがないんですから、どうぞ妹だと思し召して
—勿体ないわ。嘸お悲しみで御座いましたわね。妾が何にも存知上げなかつたからでは花房さん、歸つたらよく奥さまに詫るんですよ大事にして上げなくつちや可哀想ぢやありませんが
—此の際だから言ふがね、うちの嬶の話だと、奥さんは御目出度らしいんだぞ、貴樣間もなくお父さんになるんだぞ、おいしつかりしろ
—え、お父さ……オヤヂ?ぢや、美耶さんお母さんになるんだつたの
—妾恥かしくて言へないわ
—こいつはいい、それはいいぞ。濟まん、濟まん、之からうんと大事にするよ明朝から僕御飯たいてあげようお掃除もしてあげよう。そのスーツケース此方によこしたまへ、重いもの持つちや駄目だよ。身体を大切にせんといかんぢやないか。
—だつて、(ヂリヂリ〱)
—あら〱汽車が出るわ、花房さん、奥さま、ぢや此處で分れますわ、又歸つてからゆつくりお目にかゝりませうね。皆さん、一寸その荷物もつて頂戴
(バタ〱〱)
—さよなら、又すぐお目にかかりまわ
—さよなら、
—いつてらつしやい
(汽笛を吐く汽車)
—あなた、ごめんなさいね、びつくりしてでせう?
—いや、よかつたよ。僕はもうすつかり眼がさめたよ。僕は少しどうかしてゐたんだ、君にも心配をかけたね然し美耶子ちやんが、お母さんになるなんて、素晴らしいなあ
—ねえ、あなた、東京のお母さんに言つて上げようかしら……でも恥かしいわ
—大丈夫だよ。お母さんに言つてやつて、そしてお母さんに來て頂かうよ、お母さんを一人おいておく事は、君だつてお母さんだつて寂しいし、お母さんだ來られたら、家の中がもつと落ついて樂しいよ
—そうするよ。そして二人でうんとお母さんを喜ばしてやらうよ。
—あなた、そうなると、どんなに妾嬉しいかしら、
—明日、お手紙を書いていゝかしら
—いいよ、いゝよ。僕、そしたら、大連までお迎へに行かう
—妾も行きたいわ。
—だつて君は、大切な身体だからいけないよ。
—いやよ、又そんな事言つて
—ハハハハハ
(遠くから中林の聲)
—おい、とたんに、余り仲がよすぎるぞ、惱ますなよ、ハハハ
—又、暫らくは中てられるかハハハハ
—ヘハベハ、相當な奴等ぢや
一同の笑聲の中に、遠ざかる汽車の車輪の音が細く—
(幕)

學藝欄

新京高女（三） 內地旅行便り

鎌倉—宮の下 —四月八日—

松は青く櫻は眞白に咲いてゐるのに朝からのぼんやりした天候は相變らず晴々しくない、之を謂はゆる花曇りとでも云ふのであらう

横須賀を出發した一行は○時五十五分に歷史の都鎌倉に到着した、小學校時代より歷史のお話を聞いては憤りもし又感激もしてゐた私にとつて鎌倉の史蹟を眼前に見て様々の思をめぐらするはどんなに嬉しい事であらう、譯に荷物を預けた一行は遊覽自動車に乘つて街を見學する事になつた

バスには女の車掌がゐて、運轉手と同じ様にズボンを穿いてゐたのには一同驚いた、一班、二班、三班、四班と班別に乘り込んだ皆は走らぬ前から一番に行く事を運轉手に賴んで騷いでゐる、私は三班であつたが、先頭を願つたのにもかゝはらず、ラストになつたのには皆様大立腹であつたが、四班を拔いて三番目となつていら／＼した心持もやつと落着いた、自動車は北條時賴建立の建長寺へと向つた、左側に青い畑右側に八幡宮の境內を見乍ら細い道を走つて建長寺で車を降りた、眼の前には古ぼけた三階建の大山門があつた、七百年間も經たのであらう、建立當時は眞白な白木造りであつた山門も黑く煤けてきたなくなつてゐる、眞中に建長寺山門と檜一枚板に書かれた大額があり、二階には障子ばかりになつた處があつた、その奧に拜殿があり、出世觀世音菩薩が祀られてある、一同は其處で參拜し、裏手へ行つた、其處には大正十二年の大震災の時鎌倉で亡くなつた多くの氣の毒な人々の靈を祀つた震災記念塔や內盛講もあつた建長寺は臨濟宗建長寺派大本山で鎌倉五山の第一として有名であり國寶であるだけに立派であつた

それよりバスに乘り、兩面垣に圍まれた細い道を通り、國幣中社鶴ヶ岡八幡宮へ參つた、裏參道より入り、櫻の美しく咲いた下を步いて行くと正面に上の宮の御堂があり、其處には神功皇后が祀られてあり、朱と黑の美しい御堂で大正十二年の震災の時崩れて昭和六年修理したものださうである、八幡宮の拜殿山門の兩側には、右大臣、左大臣の大きな彫刻があり、朱と黑の美しい拜殿で應仁、仁德、履中の三神が祀られてある、公曉の隱れ銀杏で名高い石段を下りてつく／＼と大銀杏の樹を眺めると今より約六百年前この銀杏に別當公曉が隱れてこの石段の下から十三段目で實朝を殺したと云ふ名高い鎌倉時代の哀話があり／＼と目の前に現れて來て一枚の葉だにつけてない四抱へもあるこの大老木が鎌倉六十年間の歷史を物語つてゐるかと思ふと感慨無量であつた。銀杏の樹を振返り乍ら階段を下りて行くと朱塗の御殿があつた。それはあの名高い靜御前がしづやしづしづのおだまきくりかへし昔を今になすよしもかなと舞台であつた。その横に青い松に圍まれて矢張り朱と黑の美しい御堂の若宮殿があつた

それより表參道を通り、この鳥居を過ぎると其處に御手洗水があつてその横に明治天皇の御製が目に付いた。其處を過ぎると左側に源氏の三つの池があり右側に平氏の四つが池があり、源氏池には昔は白い蓮が咲き平氏池には赤い蓮が咲いてゐたさうである。だから源氏を白であらはし平氏を赤であらはすやうになつたのであらう。櫻のトンネルの下を通つて非常に急な太鼓橋を渡り辿り十の鳥居をくゞつてバスの中に入つた。次は賴朝公の墓で兩側の家は鎌倉時代よりの武家式館で竹の門のついた日本式家の庭に櫻松様々の樹は青々と茂つてゐた。道は挾いが上品で落着いた街であつた空はどんより曇つてオーバを着てゐる私共にはむしあつくてしようがない。バスの中は相變らず田中先生の御話で賑つてゐる。ともすれば目がだるくなるやうにつかれてゐる皆も先生の面白い話に誘はれて陽氣に朗かになつて行く。

車掌の說明に依つては正面に見える小さな山が北條氏一族を祀つた處であつて屛風の様な形をしてゐるので一名屛風山と云ふのださうである。バスは賴朝公の墓の前で止つた。鎌倉一代將軍として榮華を極めた賴朝公の墓はどんなであらう。定めし立派な墓であらうと思ひ乍ら石段を登つて行くと兩側は山櫻で美しい櫻の花を眺め乍ら陽氣な氣分で登つて行くと竹垣に圍まれた小さな五輪の塔であつた。まだ／＼上に御墓はあるのであらうと思つてゐると先生から之が賴朝公の墓と言はれて私はびつくりして了つた。荒れ果てたこの山の中にほんの御体裁ばかりの御粗末な竹垣に圍まれた中に小さな石が五つ積乘せてあつて雨ざらしのこの墓へたつた松と眞赤な椿の花におほはれて線香の影だに見る事は出來ない、皆は森として了つた

「あゝ可愛想な……」あの狸おやぢが……お氣の毒な……にくたらしいなどと次に出てくるものは同情である、ひよつと立札を見た私はびつくりした源氏の大將として飛ぶ鳥をも落す様な勢力のある征夷大將軍賴朝公ともあらうものが供養の歸途畑の中に落馬して死んで了つたとは余りと言へば情ない意氣地の無い哀れな死に方であらう、ある人はせゝら笑ひある人は氣の毒がつてゐる、だが私は落馬して死ぬとは矢張り當然の報ひだつたと思つた、だつて小さい時からひとなみならぬ苦勞を共にした自分の弟をあさはかな猜疑心から二人とも殺して源氏時代を自から縮めて了つたあれ程の武將賴朝は余りにも短氣で恐怖心が強かつた、そして罪もない自分の一族を殺して了つた、その結果自分も又武士であり乍ら落馬などして死に鎌倉時代は僅かに六十年で滅びその上公の墓は秀吉の墓に比べてこんな荒廢とした山の中に五輪の塔が小さく淋しく立つて誰一人として香たくものもなく只春椿の一輪二輪が僅かに墓のまわりを飾つてゐるに過ぎないと云ふのは意味の無い事ではない、之も自然の神の當然のたゝりだと思つた

次に官幣中社鎌倉宮へ參つた此處は拜殿だけ參觀したが大塔宮を祀つた大變立派な御宮であつた。畏れ多くも親王は王子の御身であり乍ら天皇を扶け奉つて政務をお執りになつてにつくき惡臣北條氏の爲に弑せられた護良親王の地下に眠れる御英靈は定めし今日の日本國家の御發展振りを御覽になつて御喜びの事であらうと思ひ乍ら謹んで敬禮をして江の島行の電車に乘つた日輪はぼーつと光つて電車より見える遠くの山々は霧で見えず途中美のしい景色は云ふまでもないが中途長谷で降りて雨ざらしの大佛を見た

大佛は大變大きくて高さ四十二尺五寸（十米八）周十六間一尺、重さ二萬五千貫の青銅の大佛で二錢出して中に入る事も出來た、物好きな私は勿論入つて見たが金網の窓が二つ程あり案外明るくて段々があり一角に觀世音を祀つた處があつた、それから外で說明を聞いたがその話に依るとこの大佛は日本三大佛の中の一で有名であり、今より約六百年前聖武天皇の勅願により賴朝公建設の大佛殿でその頃は雨ざらしでなくて立派な御殿であつたのが色々の天災の果こわれて了ひ、この大佛だけは殘つてゐたものださうである。この大佛は三大佛の中でも美男であると云ふので有名だださうである

成程!! 私も見た瞬間に何と御圓滿な美しいお顏だらうと思つて見てゐたのに聞いてみなほしてみると歌人の與謝野晶子も讃めたと云ふ程美しいと云ふ事がうなづかれた

それより汽車は一路江の島に向ふ、途中日輪はぼーつとして遠くの山々の頂上は霧に匿つて見えず說明して下さる事も分らない、電車は美しい松の並木や山河を通つて突如として見えて來たのは青い松の間から白い波の寄せては返す懷しい海だつた、暫くすると七里ヶ濱、地平線の白い線を中心にして空か海かの分らない様な海の中に濃い綠の細長い足を延ばした江の島が繪の様に現はれた時一同は總立になつて騷ぎ出した、今迄居眠りしてゐたものも余りの美しさにみとれて了ふ程夢の様な美しい景色であつた此處からは三原山の伊豆の大島も晴れた日には見え、又富士山も美しい姿を見せるさうだ、この天下の絶景を目前に通り乍ら只晴れない天氣の爲に見る事も出來ないなんて何と不幸な私達なんでせう、と一同溜息ついてこぼしてゐた、でも其處を過ぎあの名高い開成中學生十二人がボートで遭難した場所を知つた時寄せては返へす波に何とも言へない哀調を覺えた、おだやかな海に今日も四五隻のボートが浮いてゐる神ならぬ身の私達にとつて何時死ぬかも分らないのだと思ふとつく／＼人生のはかなさを感じた、眞白き富士の根、綠の江の島何とも言はれない哀調を帶びた歌が聞える歌の主はと見ると窓から顏を突き出した田中先生であつたでもそんな悲みも江の島について海岸に出た時大きな飴をほゝばり乍らねころんだりして貝殼や波に打寄せられたこぶなどを拾つてきやつ／＼とたはむれてゐる中にかへつて海の美しい波に魅せられて了ひ何時までもこの濱邊で遊んでゐたくなつた、五時半頃先生に引立てられて、去りがたい美しい江の島をかへりみ／＼電車に乘つた溫泉は大なるパラダイスである、私達はゆつくりとお溫にひたつて上つた時には一日のつかれもけろりとなほつて了ひ、美しい旅館の娛樂室でピンポンをしたり、うるはしい蓄音機のメロデーに聞きとれて夜十時床に着いた

忘れられない江の島に私の夢は通ふでせう

寄せては返す白波に綠の松の江の島……皆は一齊に床にもぐり込んだ（引地綾子）

新京の武道界展望（三）

九年度柔道部業績

△十一月二十三日第二回全滿無段者團体對抗柔道大會

於新京商業學校講堂（假演武場）主催當聯盟

出場團体左記十七

一、開原武道獎勵會
一、范家屯警察署
一、新京商業學校A組
一、同　B組
一、同　C組
一、四平街警察署
一、奉天　同
一、撫順　同
一、遼陽　同
一、新京　同
一、旅順工大
一、新京体育聯盟柔道部
一、鐵路總局柔道部
一、新京滿電チーム
一、四平街体育協會柔道部
一、新京滿運柔道部A組
一、同　B組

其の日新京は秋の空爽かに澄み渡り晴天に惠れた日和時恰も精神作興週間實施直後の事で一般に武士道の士氣漲り定刻既に觀覽席は立錐の餘地なく觀衆の中には若い女性も多數見えた、役員選手入場、會長代理野村主事の一場の挨拶あり、審判長の注意事項ありて直ちに試合に入り商業A組對奉天警察、商業C組對体聯チームの戰端は切られた、午後三時商業A組と新京体聯チームの優勝戰が展開されたが、体聯チームは九回戰に出場選手何れも疲勞し居り二對○にて商業A組の優勝となり優勝旗、優勝カップ、賞品授與式あり盛會裡に終了。優勝戰に出場メンバは左記の通り（新京商業A組）一級大將森田勇、一級副將藤本裕次一級藤井侃、一級石田富嗣一級先鋒松並弘（体聯チーム）大將佐藤弘一級副將藤村卓三、一級久元義雄、一級岡本茂雁、一級先鋒櫻坂傳右衛門

抑も本大會の使命は精神作興詔書煥發を追想し奉り全滿日本人に對し大鐘日本武士道の士氣を鼓舞し精神作興の資に供することにある、昭和八年十一月五日第一回戰を當地に開催當時は出場九團体に過ぎなかつたが、九年度は出場十七團体選手百十餘名に達し本大會は斯道獎勵の爲に將來大いに期待さるゝものありと確信されるに致つた

△昭和十年一月十八日—卅一日寒稽古、於商業學校道場

全新京の寒稽古は一部警察、中央銀行道場に分散され練習したが、無段者乃至は初心者を中心とする大衆的練習と商業學校道場へ集中初日より毎日百余名の多きに亘り出場練習者あり、狹隘のため滿鐵道場の疊十七枚も增數道場を廣め猛練習を爲した、此間幹事等は初心者勸誘に努め、三十一日午後六時より同校講堂に於て納會式を擧行時動續者並に賞品授與茶話會に入り盛會裡に閉會した

奉天著名商工業案内

大同社扱

渡邊商會
電気機器 電話機材 電気材料 絶縁材料
奉天千代田通り三二一
電話番 5349 6110

蓄電池 乾電池 充電器 ?公賣會
湯淺蓄電池製造株式会社 奉天出張所
奉天宇治町一九
電話 二四五九番

満洲國政府御用 満洲國總發賣元
イプライタ活字 (タイプライター)
合資会社 笹屋商会
本店 大連市西通九二
支店 奉天電話三八四番 奉天木曽町 電話三八三一番

日満・ビスケット
日満製菓株式會社
奉天鐵西工業區 電話八〇七一番

専門
酸素瓦斯・電気熔接棒 黒具材料・熔接材料・瓦斯
工業用各種ゴムホース 各種計器・ワ・バイト
泰和洋行
奉天鐵西 附屬熔接研究所 日電 三七二六 電話(ダイヤ)

各種鉄力製罐・鉄力印刷 美術塗装罐・広告ボタン 豆鉛鉱製品・王冠キルク 金属製タンス・製化賣
合資會社 満洲製罐公司
奉天紅梅町二七 電話 四七六三

何よりも美味しい 一二星の菓子
一二星糖果公司
奉天吉松町二〇

配線工具材料 工具 の 卸百貨店
東京 美笠電氣 満洲總代理店
電気 二光電化洋行
奉天浪速町 電話 四九六三
カタログ進呈

三榮八ミリ撮影機 自動車用 ステップ賣...
三榮洋行
奉天千代田通35
電話 二八八八 六六六六番

株式会社 明電舎奉天出張所
奉天千代田通り三四
電話 四二八番

ピース
水性壁塗料（カベペンキ）
壁の塗装は ピース塗りで……
カタログ・色見本は御申越次第御届け致します。
満洲ペイント・新京支店
新京永樂町 電五二五五

内科外科 花柳病科 産婦人科 耳鼻咽喉
入院隨意
井水醫院
曙町二ノ三二(東二條交番隣)
電話 五三九七番

國には國防 頭には はれやか

香氣の高い風味なトルコ煙草
ヘラス・スペシアル
內地への御土産に最も好適品
全滿各地の有名煙草店食料店に有り
十本入　五十本入
輸入元
奉天支店 ワカキス商會
本店 大連市山縣通一四〇

難病の 淋病も 必ず全治す
複方ノボール球の偉効
・薬店ニアリ・

特
醤油景品附大売出
景品總額金七千四百余円也

賣出規定
期間 自三月一日 至五月末日
抽籤日 昭和十年六月六日
景品引替 自六月八日 至六月末日

景品

等	景品	本数
一等	金五拾圓勸業債券	貮拾本
二等	絹綿入夏ふとん	四拾本
三等	浴衣	四百本
四等	シロップ貮合瓶	八千本
五等	硝子コップ三個 タオル一枚	一萬一千五百四十本
合計	貮萬本	

花は櫻! 醤油はキツコートク
新京大經路
合名會社 伊豫組
本社 奉天松島町 電話 六八八六番
(市內各食料品雜貨木炭商にて御買求を乞ふ)

他・甘露醤油・白口醤油・淡口醤油・の種類が御座います

「どうにもならぬ」は 頭の疲れ—つかれ休めに ノーシン あり

美術額椽繪画卸小賣商
常盤號奉天支店
奉天平安通一九番地
本店 大連市連鎖街 分店 大連市浪速町三丁目

日本一ノ おたふくわた

海陸運送 荷造一切 反重量物 取扱
昌
昌圖公司新京支店
新京富士町五丁目拾番地
電話三一七一七番
本店・大連吾妻駅前

リベール
効め速き りん病藥

恐ろしき 淋病の黴菌

この毒が眼に這入つたならば淋毒性膿漏眼となりて忽ち目は潰れる女性に傳染すれば子宮內膜炎を患ひ深き女性の悩みに沈む因つて一刻も速く手當が肝要。

特製リベールを內服すれば生理的作用により直に腸粘膜より吸收され膀胱內に入つて殺菌性の尿と化し放尿時殺菌作用を行ひつゝ排出する効力を有す。

その薬効の説明は玆に千萬言を費すよりも多くの服藥者の賞詞若くは數日間の試服に由つて事實を知られよ。

本劑の特徴

一、服藥翌朝尿は藍色に變じ強きリベール臭を放つて排泄し譬へ難き快感を覺ゆ。

一、今迄尿道に繁殖しつゝあつた無數の淋毒菌はこの恐るべき藍色尿に侵され速かに体外に放出してしまふ、故に煩はしき又危險多き自家尿道洗滌の必要更になし。

一、特製リベールの薬効を確實に知るには服藥前と服藥後の尿を採り專門家に希ふて顯微鏡檢査を施されるのが最も早道で服藥後日を追ふて黴菌が減び行く現象を視る事が出來る。

一、婦人のりん病も男子と同樣効め速し。

洗滌の危險

淋病に惱まされた人は必ず一度は自家尿道洗滌又は局所療法をやりたがる。さうしてウンと後悔する。その恐るべき弊害の實例を示せば

一、尿道より分泌する膿を逆に尿道の奥へ押しこみ睾丸を侵されて睾丸炎となり膀胱を侵されて膀胱カタル、膀胱炎等の餘病を惹き起す。十中八九迄は之れでやられる。

二、患者の尿道は劇しく爛れてゐるから錐で刺す樣に痛む、其處へゴム管やスポイトを挿入して藥液を注入するこの刺戟のため却つて排膿以前に倍し甚しきに至つては血尿を出す事がある。

以上自家尿道洗滌局所療法などは極めて危險性の伴ふ事を覺悟せねばならぬそれよりも安全なる內服を推奨する。

定價 五日分 二圓 十三日分 五圓 七日分 三圓 廿七日分 十圓
大阪市東區南久太郎町二丁目
發賣元 竹村製劑所
藥劑師 竹村幸次郎
振替大阪三六〇番
內地海外到る處の藥店にあり

資金難になやみ 新京体聯或は解散か

唯一つの統制機關を失ふ スポーツ界に大衝動

新京体育聯盟が創立されてまだ滿二年も經過せぬが、最近首腦部の一部に解散說さへ起り、その成りゆきは極めて注目されてゐる、理由は資金の調達難によるもので同聯盟には從來確固たる財源とてなく前年度は例の赤帽問題による千二百圓の寄附を筆頭に各方面の援助によつて約三千圓程度の資金をどうにか寄せ集めたが、本年は赤帽財源もなほ未解決の狀態に置かれ、今のところ他にこれといつた見込みも立たないので全く豫算の立てやうもない始末で、之がために當局者はり頻に焦慮してゐる始末である、同聯盟成立以來新京スポーツ界の向上發展に貢獻した所隨分多く最近國都のスポーツ界が躍進また躍進面目を一新するに至つたのもこれ全く同聯盟のお蔭であるとしてゐる位であるから、今度の解散說は理由の如何にかゝはらず一般に相當大きなショックをもたらすものであらうと見られてゐる

南嶺運動場に於て 植樹節式典擧行

盛大なる國都の綠化運動

昨年春皇帝御登極の慶典と共に實業部、民政部、文教部、軍政部の手に依り帝政記念事業として全國綠化運動が開始されたがこれを記念するため四月二十一日の穀雨日を期して、植樹節とし新京を始めとして全國に於て記念式典が盛大に擧行される、この日新京に於ける記念式典は國都建設局、實業部、市政公署共同主催のもとに午前十時から南嶺運動場に於て擧行され各部大臣各部局高官、及び一般市民多數參列し第一振鈴で學生入場第二振鈴で來賓入場金新京特別市長の開會の辭に依て、開會滿洲國軍樂隊の奏樂の後張實業部大臣及び來賓の講演あり、終つて第三振鈴と共に一同植樹位置に就き第四振鈴で一せいに記念植樹を行ふ、植樹には各植樹者各々名札を結びつけるこれに依て植えられた、泥、楊、キササゲ、ネグンド等が年經て大木となる迄植樹者の名前を記した木札は木の幹に結びつけられて永久に記念される譯である、一同植樹を終れば再び會場に歸り軍樂隊奏樂の後阮國都建設局長の閉會の辭に式を閉じ全參列者に記念品が贈呈される、新京に於ける記念式典と共に全國各地に於て式典並に記念植樹が擧行され夜は新京放送局から「綠化運動に就て」と題し張實業部大臣の講演放送が六時半からの「國民の時間」に行はれるが實業部に於てはこの植樹節の儀を廣く一般國民に徹底せしめるため記念繪葉書二種二十萬枚、ポスター三種二萬枚、パンフレット「植樹演說」五萬冊を全國に配付した

皇帝陛下御歸京の

警衛打合せ

滿洲國皇帝陛下御歸還御警衛に關する日滿警備機關の打ち合せ會は二十日午前十時より新京憲兵隊本部にて開催左の如く決定正午散會した

（一）滿洲國皇帝陛下御歸還當日新京驛第二ホームに御出迎へ申上る有資格者は日滿勅任官以上、簡任官以下は第一ホーム（二）鹵簿御進行順序は皇帝陛下の御召自動車御進發についで滿洲國要人之に續き簡任官以下は南軍司令官の到着まで十五分間待つて軍司令官に次いで進行（三）一般通行は御召列車御到着五分間前交通禁止中央通りは皇帝陛下御召自動車御進發後南軍司令官通過まで十五分間通行を禁止す

全滿を蔽ふ 青々の榮へ

綠化運動着々進む

產業、燃料、保安、治水、水力、風光等の各方面に亙る必要から滿洲國の綠化運動は昨年春帝政實施と共に實業部、民政部、文教部、軍政部の手により開始された、運動は先づ植樹思想の普及からといふ譯で全國の小學校に於て、生徒に植樹思想の吹込みに努め優良學校に苗圃、造り木や草を植えさせると共に、將來國民の產業上の中堅ともなる可き軍人に對して植樹思想の徹底を期し兵營に植樹を行はしめたが、其他パンフレットの配布、講習會開催等をも行つたこれと共に全國に植樹を行ひ材木及びパルプ原料とも良木たる落葉松の苗五萬本を朝鮮より購入し村の部落林とする事を目標とし先づ手始めに鐵道沿線を主にこれを植樹せしめた、其他胡桃を奉天に栗を奉天、錦州にイタチハギの種四石を熱河、奉天、間島地方に配布した、尙その外泥楊ライラック、ユスラ梅、オヒヨー桃、杉子、松、はぎ、つゝじ櫻等の種苗を取り寄せて學校、軍隊、官廳其他の建物並に各住宅に植樹せしめたが國都建設局が新京市內に植えた泥楊の街路樹一萬本、五つの公園に植えた木が十五萬本各住宅並に官廳の註文に應じた物が三萬本の多數に上つて居る植樹の成績は皆良好で特に學校苗圃中延吉の第四師範學校の二千坪が成績最も良好で來年からは同苗圃で造つた苗木が附近の山に植樹され滿洲山林綠化の魁をなし間島方面の荒廢した山に綠の滋雨をそそぎ、薪炭無く永結に惱む住民を救ふものとして期待されてゐる、康德元年度の好成績に力を得て當局では康德二年度には更に力を入れることとなり、ヒバカラ松の他に黑松、シベリヤハンの木の苗四百萬本を全國に秋田杉、靑森のヒバを安東、錦州地方に配付する事になつてゐるが、學校苗圃を增加すると共に學校教科書に植樹思想を大いに盛り童子團、靑年處女團体を通じて思想の普及に努め各縣に模範農村を造つて綠化運動のリーダーたらしめんと計畫し省及び縣、村に技術員を置いて指導に當らせ綠と力んでゐる、尙今迄滿洲には森林會、山林會があつたが森林政策樹立の上これらの會を設立とせんし、實業部では森林政策確立の爲康德二年度に於て全國山林の調査に全力を注ぐ筈である

擧式次第

明二十一日南嶺運動場に於ける帝政記念全國綠化運動第二回植樹節擧行次第左の如し

一、學生入場（第一振鈴）
二、來賓入場（第二振鈴）
三、開會の辭、金特別市々長
四、奏樂（國歌）
五、實業部大臣講演
六、來賓講演
七、植樹地入場（第三振鈴）
八、植樹
九、會場復歸
十、奏樂
十一、閉會の辭、國都建設局長
十二、記念品分配

尙當日は鄭國務總理大臣も出席する

無料バス運轉

二十一日實業部、國都建設局市公署主催帝政記念全國綠化運動第二回植樹節の次第は別項の如くであるが、當日は國務總理大臣以下各部大臣、各機關代表等總出で午前十時南嶺運動場に於て擧式の後思ひ思ひに植樹をなし、記念品の贈呈が行はれるが、一般市民の參加も歡迎されて居り當局では午前八時半から正午頃まで無料バス約十臺を以て南廣場を中心に大同公園方面及大馬路經由南嶺方面へ間斷なく往復運轉をなす豫定である

ギャングを追ふて 兩署搜索陣動く

苦鬪六連夜の收穫如何

犯行後六日間、連日の搜査も何等得るところなく躍氣となつた新京署、領事館署は新手を加へて猛進又猛進その搜査は刻一刻と深刻となつて來たが二十日午後に至り市內外に張り廻らした情報網より有力なる聞き込みが續々と搜查本部に通報されるに至り領事館署は搜査隊の一部を割いて京圖線某方面に向ひ區域を縮少してゐた新京署も新手の精鋭が加はり遊擊の一隊は附屬地隣接各村落に進出相呼應して端緖を摑むことに努めてゐる

寫眞說明　今日午後四時二十分新京飛行場に着いた八日市飛行聯隊の井下聯隊長と出迎への佐藤大佐の握手（於新京飛行場）

清楚と氣品に滿つ 制服の處女たち

私立萃文女子中學校訪問

滿人街に聽く（二）

映畫「制服の處女」が人々に與へた感銘は深かつた、記者は滿人街の制服の處女たちを垣間見るべく西五馬路に私立萃文女子中學校を訪ひ校長史延書氏に會つて談話を聽いた、行つた時はちやうど授業時間中で校內ひつそりとしてゐる、校長室に二人の女學生が這入つて來た、外出の許可を貰ひに來たのである——「二時までにはきつと歸りますわ」と言つてゐる、構成派風の模樣のある外出着を着たお孃さんだ、外出證を貰つてしとやかに出て行く

「現在學生數は？」
「中學部で百四十名です」
「先生は？」
「此處は小學部を併有してゐますので十五人の教師がゐます」
「創立は？」
「はじめ小學部がアイルランドの婦人宣教師によつて建てられました、それが一九〇七年ですからもう二十九年になります、中學部は七年前に出來ました」
「何年制ですか？」
「中學部は三年です」
「課目に日語があるやうですね、その先生は？」
「池田さんといふ日本の婦人が居られます」
「基督教の精神でやつてゐられるのですね？」
「上級には宗教を講じますが別に信仰を強制するものではありません、まだみんな若い子供ですからね」

やがてベルが鳴りお晝となつた、食事すみ、暫らくすると校庭に三々五々嬉戲する彼女らだ、春光は靑い制服にふりそゝぐ、テニス、ヴアレー、ぶらんこ、籠球、この國の若きマヌエーラ、あどけなきイサベラたちの春に祝福あれである、淸楚と氣品に滿つる乙女たちよ健やかに育ちたまへ、なほ現在新京にはこの外に新京特別市立の女子中學校が一校ある

六大學リーグ戰 明大辛勝 慶應敗る

7A—6

六大學リーグ慶應對明治戰は法政、帝大の後を受け午後三時九分から球審藤田、壘審永澤、森、野村四審判の下に慶應先攻で開始兩軍大接戰を演じたが七アルハ對六で慶應惜敗した閉戰四時五十七分得點メンバー左の如くである

得點

										計
（先）慶	1	2	0	0	2	0	0	0	1	6
明	0	2	0	0	1	0	2	1	1	A 7A

慶應　川井 石村 田井 桝山 方
勝 櫻 楊 中本 岡 土平 灰 國
6 2 5 3 7 4 1 8 PH 9
本壘打平桝（慶）

明治　谷口 上本 浦井 田 茂田 脇澤
布道 村 岩杉 室阪 尾吉 山水
4 8 PH 8 9 9 2 3 7 1 1 5

女子庭球 初の會員總會

女子庭球會員總會は二十日午後四時より地方事務所會議室にて開催新京軟式庭球部の今日の發展を見るに至りたる經偉につき野村社會主事加藤常任幹事の說明あり昭和八年度業績表及新京体育聯盟趣意書參照、ついで本年度女子庭球の行事豫定、廿一日の女子部庭球コート開きなどについて種々打合せた

新京の早慶戰 早大の凱歌

慶應の奮戰空し

6—3

早大校友會對慶應校友會の對抗軟式野球大會は二十日午後四時三十分から西公園球場で宮球、淺香壘、竹田地方事務所長試球式で早大先攻で開始されたが、慶應の奮戰空しく六對三で早大快勝遂に凱歌を奏した、此日南風强く砂塵はグランドを襲ひ選手達を惱ましたが兩校友會員は砂塵もなんのその一壘スタンドに陣取つてWとKの入つた手旗を振り盛に聲援を送つてゐるのも又面白い狀景であつた兩軍得點メンバー左の如である

								計
先 早	0	0	1	0	0	5	0	6
慶	0	0	1	0	2	0	0	3

慶　1瀧橋 3高野 5矢阪 8保村 7小川 6早萩 5赤田 武田 久田7
23 大 高 矢 保 小 早 赤

早　寺川33 5福家 48原田 4佐々木 16水原 168原川 1笠井 2市川 7梶尾 9五百旗頭 9保 3高橋 3古口 赤松 狩野
打數33 安打8 四死2 三振3 犧打4 盜壘10 失策3

試合經過

一回早福家四球、原田中前安打、水原遊飛、瀨川左飛笠井四球を選び滿壘となつたが市川三邪飛に空し▲慶大瀧高橋ともに投飛矢野三振

二回早梶遊飛五百旗頭左翼線上に二壘打をカツ飛したが後援續かず▲慶保坂三邪失に生き川村四球、早川三振赤萩四球を選び一死滿壘となり絕好のチャンスを迎へたが武田打者の時保坂本壘を衝かんとして刺さる、武田二飛

三回早原田三邪失に生き水原左前安打源川遊邪野手迷つて投球せず無死滿壘となり絕好のチャンスを迎へ笠井二飛原田生還一點を先取り後續かず、▲慶久田四球大瀧一振、高橋中前安打矢野投飛保坂投邪野手投球を迷つてゐる內久田生還一點を返す川村四球、早川三振

四回兩軍無爲

五回早大無爲▲（投手水原に變る）慶高橋二飛矢野中越二壘打の後三盜保坂の左前安打に矢野生還川村打者のとき保坂二盜を企てるや捕手投手に球を返したがその間水原二壘に暴投し保坂生還二點をリード

六回早保坂中前安打古口避飛寺川左翼越三壘打で狩野生還一點を返し續く佐々木左翼越二壘打に古口生還水原左飛失に生き原川二壘右を拔く安打は寺川生還、原田二飛佐々木生還赤松左前安打で水原生還、狩野投飛この間五點を得て勝敗を決した

七回兩軍零、

△熊本榮△須藤鐵雄△大沼菊治△諸上順市△熊九榮△北代猛男△池田茂生△上重健一△安藤吉文△川村勝△田中春香△岡部猪之△文義賢△姜昌錫△姜順石△安錫文△李南根△崔龍準△金癸哲△尹相萬△朴容源△白成鳳△尹鐘根△朱義均△金永△金雲弘

憲兵隊の劍道納會

新京憲兵隊本部の劍道納會は二十日午後二時より新京署道場にて開催、新京武道界の元老井上惣三郞氏新京署竹村教師其他多數來賓あり試合は個人優勝紅白試合とも火の出るやうな激戰を見せ盛況裡に午後四時半閉會した優勝者氏名は左の如くである

△個人優勝△一等伊藤軍曹△二等田村上等兵△三等安藤曹長△四等土田曹長△五等尾崎軍曹△紅白試合△一等森本上等兵△二等萩上等兵△三等安藤曹長

吳服商組合生る

新京市內御吳服物同業者は將來外部（消費組合など）に對して結束して對抗するため優良な品物を安く販賣し、同業者間の連絡親睦を圖るため新京吳服商組合を組織しさる十五日靑葉で創立總會を開催した役員は互選でそれぞれ決定した

情報處の高橋さん、高島屋の滿洲國展のポスターを向ふの壁に掛けさせて眺めてゐたが「どうも年をとると字が見えん」と仰言る、まだそんな年ぢやないよ、女の顏ばかり見てたやうだつた—「もうやがて娘が女學校に行くからね」そりやそうに違ひない、にしてもその「やがて」が相當永いんだ……

鮮魚小賣相場（二十日）

品名	相場
活鯛	八五―六六
チヌ鯛	二六―一七
連子鯛	四〇―三三
アマ鯛	三〇―二一
ニベ	二〇
ブリ	三三―二〇
サハラ	六〇―三三
ス、キ	二三
サバ	二三―一三
アヂ	三四
カレイ	一三―二
ヒラメ	三〇―一四
ボラ	二五―一六
コチ	一七
コノシロ	三一
キス	四〇―二二
イワシ	一五―一〇
赤貝	五
ウナギ	一、一〇―八〇
オコゼ	二一―二〇
メバル	二六―一七
ムツ	二三
アブラメ	二六
サヨリ	三五―三〇
數の子	三二―二七
ホーボー	一八―一〇
タコ	二六―一五
イイダコ	一二
イカ	四〇―一八
イセエビ	一、一〇―七八
クルマエビ	四三―四〇
コエビ	二五
カニ	一〇―五
アナゴ	一七―一三
白魚	一八―一六
アワビ	八五―五八
カキ	二五―一〇
シジミ	八
丸カレイ	一〇―七
星カレイ	二三―一七

運轉手實地試驗合格者

新京警察署管內自動車運轉手試驗の實地試驗合格者は左の如くであるが實地試驗合格者には二十三日午前九時より新京署で更に學科試驗を執行することになつたが該當者は遲刻せぬやう出席されたいと

實地試驗中種合格△岩根重雄△川原善一△三好元十△古賀一夫△横枕榮吉△吳基仁△羅鐘亨、實地乙種合格者△原孝△錦戶松彥△大石堅志△右田兼雄△前野辰一△吉田貞治△荒川奎吉△濱田萬吉△內海直司△谷進一郞△鈴木貞吉△井口慶水△後山定△山本鯨信△望月貞利△吉川今雄△逸見誠一△立元礼△田村豐龍△竹內正雄△宮崎佐之吉△黑飛寶吉

女人婆羅門（にょにんばらもん）

（百二十二）

（韓上演映画化）　長田秀雄　西正世志畫

若い日輪（一）

伊豆國君澤郡修善寺の温泉場、第一等の旅館勢州樓の欄干に、一人の二十二三になる目鼻立の整つた、小柄の背の高い青年が凭れて、戸外に目を配つてゐた。

「御退屈さまで」

と、女中は這入つて來て茶菓を奨めた。

「有難う——なあに退屈といふ程でもないが。慣れぬ處に還つて來たから、何となく調子がそぐはないのさ」

と、青年は笑つた。

女中は、火鉢に炭箱から炭をつぎ足して、

「どうぞ、御氣持を御寛樂になすつて下さいまし。御邸とは違つて、又、落着いた處もございますわ」

「それはさうだ。自分の家と違つて、何となく暢氣だよ——それに」と、言つて、青年はゴホンゴホンと咳をして、

「僕は病氣療養のため、こゝに來てるんだから、醫者は言つて困られないさ。こんな靜かな環境に浸つて、讀書と瞑想と藥餌に親しんで居るなんて、病人でなくちや獲られない特權だよ、はつはつは」

と、淋しく笑つた。

女中は、それに愛想のいゝ返事をして出て行つた。

森閑とした二階の客室は、明るい陽光に恵まれて、三月とは言へ白日のやうに明るかつた。青年は挿入新聞の續き物に讀み耽つてゐたが、

（明治になつてから挿入小説の類は昔の人情本より、男女の情愛を一層濃厚に描き出してあるやうだ。この小説にしたつて爲永春水や松亭金水以上だ。小説家になるのも骨が折れるもんだ——）

と、呟いて、新聞を廊下に投げ捨てた。

そして、

「（修善寺へ來てから、碌に見物して歩いたこともないから、少し歩いて來やうか——）」

と起ち上つた。

勢州樓の宿下駄を突掛けて青年は、湯近い橋を渡つて桂川のせゝらぎに聴き入りながら、無心に歩いた。

桂川の兩岸には、柳屋、野田屋、菊屋、菱屋、養氣館、新井館、四方樓、鶴生館、江戸屋などの大きな温泉旅館が櫛比してゐた。

南北に山を負ひ、東西は開けて、さながら擂鉢の底のやうな修善寺だ。桂川はその中央を貫通して、奇岩が中流のところに隆起してゐた。

水はこれに激して、飛沫は霧の風に吹かるゝやうであつた。

「好いところだなあ」

と青年は呟いた。

そこへ、土地の案内人が出て來て、

「旦那、御案内致しませうか、故事來歷を聞かなくちや面白味がございません。如何さまで？」

と、奨めた。

青年は、どうしやうかと思つたが、退屈凌ぎには充分であつた。

「では、案内を頼まうか」

「へい——有難うございます」

案内の話は、獨鈷湯、眞湯、河原湯、稚の湯、杉の湯、瀧の湯、岩の湯、花の湯、菊の湯、菖蒲湯、寺の湯、大日靈泉等を案内して行つた。

そして、

「修禪寺は人皇五十二代、平城天皇の御代、空海上人の開山でございます。源範頼が、梶原景時の爲めに嫌はれて自刄したのもこの寺、源頼家も、こゝに幽閉されまして、浴室にて暗殺されたのでございます」

と、修禪寺の沿革を語つた。

昔尼將軍が右府を追想して月に對し歔欷嗚咽これを久しうしたといふ指月の岡や、空海修禪の遺正覺院寺も見歩いた。幾つかの故人名將の墓、祠、碑等も見歩いて、

青年は勢州樓に歸つた。

一室に入ると、青年はくたくたになつて、籐椅の上に倒れた。

「町田君——居りますか」

と、そこに隣室の客人が這入つて來た。